

宮城県図書館振興基本計画

1 理念

情報の拠点としての県図書館の機能を強化しながら、地域文化を保護・育成・活用する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を進め、県民のみなさんのより充実した生涯学習を支援します。

2 基本方針

- 1 生涯学習に役立つ図書館
- 2 情報の拠点としての図書館
- 3 次世代を育成する図書館

3 施策と事業計画

- 1 (1) 資料の収集・整備
 - 生涯学習に役立つ資料の収集
- (2) 生涯学習情報の提供
 - 生涯学習相談の実施
 - 学習機会の提供
- (3) 利用しやすい図書館への工夫
 - 情報発信の促進
 - 館内表示の工夫
- 2 (1) 市町村図書館等への支援・連携・協働
 - 図書館資料の協力貸出の推進
 - 図書館間の相互協力体制の充実
 - 図書館の整備・運営に関する助言
- (2) いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実
 - 図書館情報ネットワークシステムの整備
 - 障がい者サービスの充実
- (3) 調査・研究に役立つ機能の充実
 - 調査・研究に役立つ資料の収集
 - レファレンス事例の作成・公開
- 3 (1) 郷土関係資料の維持・充実
 - 宮城に関する資料の収集
 - 宮城県の行政資料の収集
- (2) 子どもの読書環境の充実
 - 読書環境の整備充実
 - 読書活動の理解の促進

宮城県図書館資料収集方針

第1 目的

宮城県図書館（以下、本館）は、全ての宮城県民が目的に合わせた知識や情報を入手して、生活の向上、地域社会の発展に貢献し、広く文化的な営みをもつための欠かせない施設として存在する。また、本館に収蔵される叢智の集積を全国へ発信し、かつ、未来へ伝える責務を担う。

前述の目的に鑑み、本館は公平かつ長期的な視点に立って、公共図書館として備えるべき適切な蔵書構成の実現に努める。

以上の拠り所として、本収集方針を定め、図書館員共通の理解のもとで運用する。

県民の知的関心に応えとともに、効率性の高い資料収集の実現を期す証として、本収集方針を公開し、今と未来の県民から評価の得られる蔵書形成をめざす。

第2 資料収集にあたっての要諦

- 1 県民の「知る自由」とニーズに基づき、かつ本館の目的に合う資料の収集に努める。ニーズには、リクエストを含む県民の直接的な要求、潜在的な要求及び未来の需要を合わせて配慮する。
- 2 蔵書構成上、必要な資料の収集に努める。類書、代替資料等の存する場合には精選し、効率的な収集に努める。
- 3 時間の経過にあっても輝きを失わない資料の収集に努める。
- 4 本館が教育機関であることに十分に留意し、県民の生涯学習と次世代の育成に役立つ資料の収集に努める。
- 5 市町村図書館や図書館未設置市町村の読書施設等を支援する中核施設として、その機能を積極的に努める。

第3 収集資料ごとの留意点

収集する資料ごとの留意点は次のとおりとする。

各資料の選定に関わる詳細は別途に定める「宮城県図書館資料選定基準」（以下、本館資料選定基準）に従うものとする。

1 図書

県民の知的関心に応え得る蔵書形成を図るため、新刊図書は幅広く収集する。通俗書、娯楽書については精選する。類書、代替書のある場合には、蔵書構成上の必要性を見極める。既刊図書は古典的名著、戦前に出版された資料等を中心に必要なものを収集する。

2 参考図書

学術的・教育的・社会的に有用なものを幅広く収集する。

3 児童資料

子どもたちの豊かな心と創造性を育む資料について幅広く収集する。保存用児童資料については全点の収集を図る。児童資料に関わる研究資料についても収集対象とする。

4 外国語資料

基本的資料および日本に関する資料を中心に収集する。英語、中国語、ハングル文字で書かれた資料を中心とし、その他の言語については必要に応じて収集する。

5 逐次刊行物

新聞については全国紙のほか東北、北海道における地方紙も対象とする。専門紙および機関紙は精選する。雑誌については各分野の主要なものを中心とする。年鑑・年報類については、調査研究に有用なものを収集する。市販されていない学術誌、専門誌、研究紀要等については留意する。

6 視聴覚資料

カセットテープ・CD、ビデオテープ・DVD等の視聴覚資料は、県民の教養・文化の向上に役立つ資料を精選して収集する。宮城県に関わる資料、宮城県内で制作された資料については積極的に収集する。

7 電子資料

内容、検索の多様性、操作性等を考慮して収集する。

8 障がい者サービス資料

「バリアフリー図書館」を実現するために、録音資料、点字新聞・雑誌、さわる絵本、字幕・手話付きビデオ等の資料を積極的に収集する。

9 宮城資料

宮城県および旧仙台藩領等関係地域に関する資料、宮城県人の著作物、宮城県内で発行された著作物や行政資料等を重点的かつ網羅的に収集する。

10 古典籍

仙台藩関係のものを中心に内容的にも優れた和漢の古典籍を収集し、開館以来蓄積してきた古典籍の一層の充実に努める。

第4 資料収集の方法

- 1 購入、寄贈、管理換え、交換等により収集する。
- 2 とくに蔵書構成上必要であって、市販されていない資料、一般の流通ルートによらない資料については、積極的かつ的確な収集を図る。

第5 資料選定の組織

- 1 資料の選定については、「宮城県図書館資料選定委員会」(以下、資料選定委員会)が本収集方針及び別途に定める本館資料選定基準に基づいて行う。
- 2 資料選定委員会の運営に関わる事項は別途に定める。

第6 本収集方針の運用

- 1 本収集方針を改定する場合は図書館長の決裁による。
- 2 本収集方針に定めるもののほか、資料収集方針に関わる必要な事項は、その都度資料選定委員会に諮るものとする。
- 3 本収集方針は宮城県図書館ホームページ他において公開する。

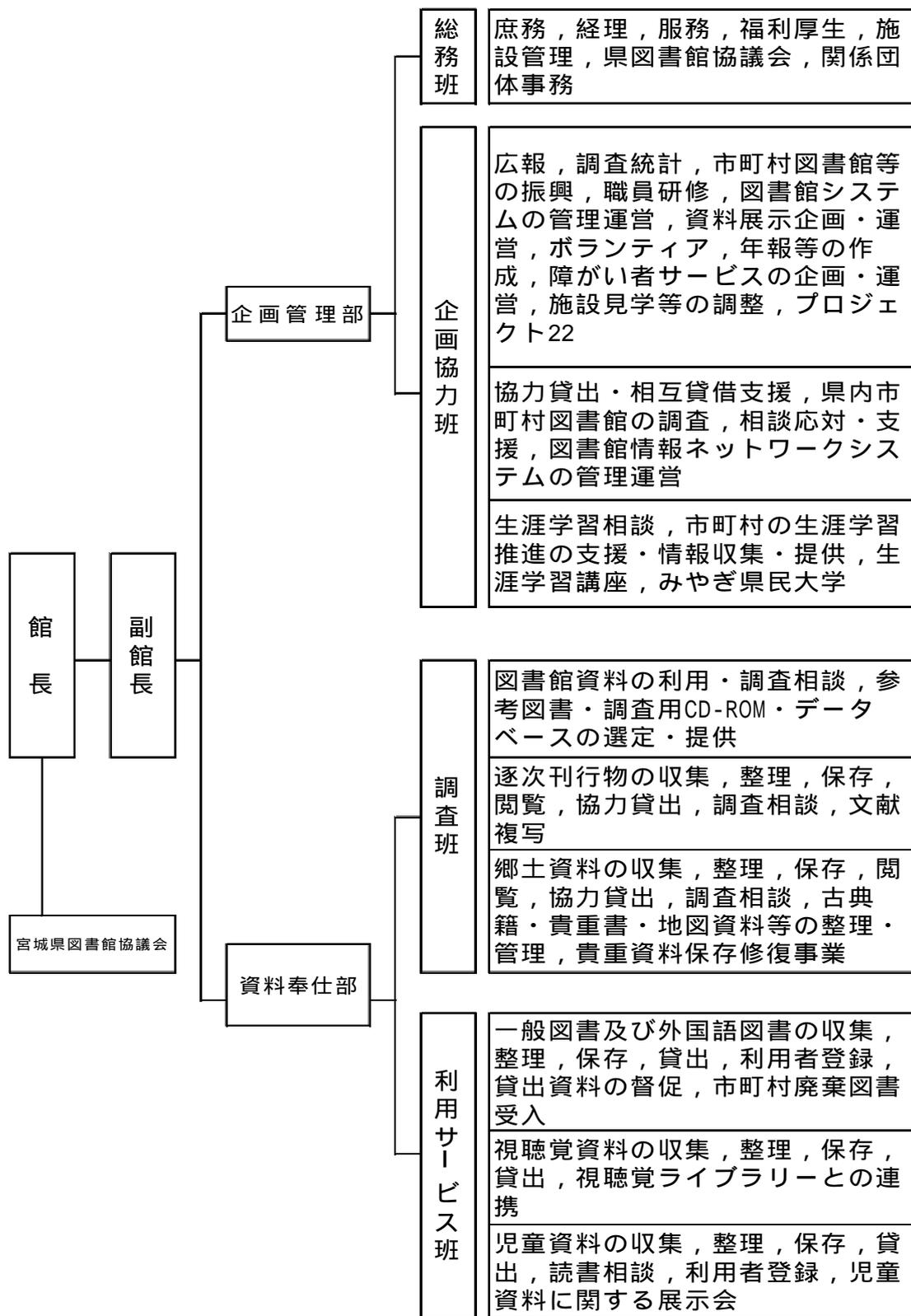
附 則

この方針は、平成17年4月1日から施行する。

平成20年度運営計画

1 組織・機構

(平成20年4月1日)



2 職 員

(平成20年4月1日)

館 長 伊 達 宗 弘
副 館 長 櫻 井 守

企画管理部		資料奉仕部	
部 長	大森 紀和	部 長	高橋 昭夫
副参事兼次長 <small>(総括担当兼総務班長)</small>	丹野 君信	次 長 <small>(総括担当)</small>	菅原 泰博
主 幹	高橋 深雪	主任主査 <small>(調査班長)</small>	内馬場みち子
主 査	加藤 奈津江	主任主査	佐藤 睦美
主 査	吉田 光輝	主任主査	田中 則行
主 事	佐々木 剛	主 査	齋藤 有美
主 幹 <small>(企画協力班長)</small>	大和田 順子	主 事	梶本 哲弥
主 査	野澤 郁晃	主 事	田中 亮
主 査	曾根 晃	主 事	佐々木 英樹
主 事	高橋 智恵	主 事	只野 雅美
主 事	日野 文都	主 事	太田 佳子
主 事	田代 恭子	主 事	熊谷 慎一郎
主 事	尾島 恵	主 事	柴田 香織
		次 長 <small>(利用サービス班長)</small>	渡邊 明彦
		主 幹	只野 義広
		主 幹	阿部 毅
		主 査	昆 清悦
		主 査	洞口 薫子
		主 査	村田 隆子
		主 事	田村 さおり
		主 事	木村 英晃
		主 事	鈴鴨 秀一
		主 事	石川 博子
		主 事	岡本 真澄
		主 事	一條 ちか江

職員数 () : 司書・司書補有資格者内数

職 名	館 長	副 館 長	部 長	次 長	主 幹	主任主査	主 査	主 事	計		嘱 託	相 談 員	臨 時 職 員	計
	1	1	2	3	4	3	8	18	40		18	2	23	43
	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(3)	(1)	(8)	(14)		(18)		(4)	(22)

3 平成20年度予算

(単位：千円)

区 分	予 算 額 (19年度当初)	概 要
管 理 経 費	232,647 (242,336)	本館の運営維持費（定員内職員の人件費を除く）
図 書 館 協 議 会	429 (434)	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	6,246 (15,384)	機器使用料，消耗品等に要する経費
市 町 村 支 援 費	53,609 (54,859)	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	784 (1,000)	広報等に要する経費
資 料 購 入 費	45,010 (53,694)	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	2,258 (15,924)	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
合 計	340,983 (383,631)	

4 平成20年度事業

事業名	内 容	期 間(予定)
公共図書館連絡会議	図書館職員を対象として、図書館の運営や相互貸借に関する情報交換を行う。	5月23日(金) 11月21日(金)
公共図書館等初任者研修会	県内市町村図書館等の初任職員(勤務経験2年以内)を対象に、図書館職員としての基本的な研修を行う。	5月9日(金) 9月26日(金)
公共図書館長研修会	図書館長としての知識・技能の向上のための研修を行う。	7月25日(金)
公民館図書室職員研修会	公民館図書室運営上の基本的事項について研修を行う。	6月20日(金)
公共図書館等職員研修会	公共図書館等の職員を対象に、著作権法やレファレンスサービス等の研修を行う。	10月17日(金) 11月7日(金) 12月5日(金)
子どもの本展示会	過去1年間に刊行された児童図書の中から約1,500点を展示、児童図書選択の情報を提供する。また、希望のあった図書館・公民館図書室・学校図書館において移動展示会を実施する。	4月19日(土) ～4月30日(水)
おはなし会・紙芝居上演会	職員、ボランティアが絵本・紙芝居の楽しさを共有・共感する機会を提供することにより、子どもを読書及び図書館利用の慣習化へと導く。	毎月8回程度
上映会	図書館所蔵の視聴覚資料(LD,ビデオ,DVD,CD)を活用した上映会を通じて県民の多様な学習ニーズに応える。	毎月第2,第4土・日曜日 (5月:GW及び 第3土・日曜日)
夏休み親子映画会	心の交流をテーマとした映画を通じて、家族間のコミュニケーションの機会を提供し、家族の絆の深化、家庭の教育力の向上を支援する。	8月9日(土) 8月10日(日)
家族で楽しむ映画会	幼児向けの豊かな心情を育てる内容の映画を通じて、家族間のコミュニケーションの機会を提供し、家族の絆の深化、家庭の教育力の向上を支援する。	1月10日(土) 1月11日(日)
春休み子ども映画会	春休み期間の幼児・児童を対象として、心豊かな心情を育てる内容の映画に触れる機会とする。	3月21日(土) 3月22日(日)
生涯学習サークル作品展	生涯学習に関する展示、サークル発表等を開催する。	随 時
図書館ボランティア研修	ボランティアに必要な図書館活動等の考え方や技術の理解を促すため、養成講座、基礎研修、専門研修、市町村図書館ボランティアとの交流を行う。	随 時
みやぎ県民大学	図書館が持つ資料等から、地域の産業や歴史などを様々な分野から学ぶ。	11月の毎週土曜日
図書館未設置町村巡回	図書館設置町村の状況把握と設置促進を図る。また、設置に向けて支援する。	随 時

事業名	内容	期間(予定)
東北大学附属図書館 合同展示会	本館が移転開館(仙台市泉区)して10周年を記念して、東北大学との共催により合同展示会を開催する。	10月25日(土) ~11月24日(月)
貴重資料の体系的学 術調査	大学・学術研究機関等の研究者により実施し、専門調査事業報告書を作成する。	随時
貴重資料保存修復事 業	傷みの激しい貴重資料等を修復し、マイクロフィルムを作成する。	随時
修復成果品レプリカ の公開	本館展示室において、またWeb版「叡智の杜」として公開する。	随時
複製資料貸出事業	高等学校、図書館、公民館を対象として、『坤輿万国全図』や『環海異聞』等の国・県指定文化財レプリカ、『源氏物語』等の古典作品のレプリカの貸出を行う。	5月~2月
宮城県図書館紀要 『叡智の杜』の発行	宮城県図書館紀要『叡智の杜』を発行する。	3月
子どもの本の移動展 示会	小中学校、図書館、公民館を対象として、過去1年間に出版された子どもの本の展示会を行う。	5月~2月
各種展示会	所蔵資料等を広く一般に公開し、学術・文化の振興に資する。	随時
プロジェクト22	図書館職員による研究成果等を県民に提供する。	11月

5 平成20年度協力業務予定表

- 1 協力貸出資料（相互貸借資料含む）は、毎週水曜日に宅配便で発送。返却日は、30日後の金曜日。
- 2 市町村図書館等への相談業務は、7コース（～）で巡回相談を実施。
その他、仙台市、公民館図書室等の相談業務は、随時行う予定。

コース	巡回図書館	巡 回 予 定 日
	本吉町立図書館 気仙沼市図書館	4 / 10（木） 10 / 2（木）
	南三陸町図書館 石巻市図書館 東松島市図書館	4 / 11（金） 10 / 3（金）
	栗原市立図書館 加美町中新田図書館	4 / 10（木） 10 / 2（木）
	登米市立迫図書館 美里町小牛田図書館 大崎市図書館	4 / 11（金） 10 / 3（金）
	岩沼市図書館 亘理町立図書館 丸森町立金山図書館	4 / 17（木） 10 / 17（木）
	利府町図書館 塩竈市民図書館 多賀城市立図書館 名取市図書館	4 / 17（木） 10 / 9（木）
	角田市図書館 白石市図書館 蔵王町立図書館	4 / 18（金） 10 / 10（金）

諸事情により、巡回日程や巡回時間が変更される場合があります。

6 宮城県図書館協議会

図書館の運営に関して館長の諮問に応じるとともに、図書館の奉仕活動について意見を述べる機関。

第29次宮城県図書館協議会委員

(任期：平成20年3月1日～平成22年2月28日)平成20年6月1日現在

氏名 (五十音順)	役職名	備考
遠藤幸生	宮城県佐沼高等学校 校長	
大島真理	東北福祉大学 講師	
寺島英弥	(株)河北新報 編集局生活文化部長	
齋藤弘子	宮城テレビ番組審議会委員	
佐藤敏国	仙台市民図書館 館長	
澤井清	宮城学院女子大学 教授	
千葉啓子	公募	
千葉由香	(有)荒蝦夷 取締役	
野家啓一	東北大学理事・附属図書館長	
平間啓子	白石市役所 市民課 課長補佐	

平成 19 年度概況

1 概況

平成 19 年度は、本館が平成 10 年 3 月に移転開館（仙台市泉区）して 10 年目を迎える節目の年にあたり、これからの新たな図書館運営の基盤づくりを行いました。

『宮城県図書館振興基本計画』を作成し、平成 20 年 3 月に公開しました。運営基本理念として「情報拠点としての県図書館の機能を強化しながら、地域文化を保護・育成・活用する『22 世紀を牽引する叡智の杜づくり』をすすめ、県民のみなさまのより充実した生涯学習を支援します」を掲げました。

本館総合プロジェクト「22 世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」について、平成 19 年度は文部科学省「地域の図書館サービス充実支援事業」のモデル指定を受けました。平成 16 年度からの実績を踏まえて、市町村図書館、高等学校、県地方振興事務所等の地域拠点と連携し、本館所蔵貴重資料の特別展 & セミナー、子ども読書関連講演会、特別授業などを実施し、事業の地域展開を図りました。また、セミナー等での活用に資するため、貴重資料の解説書『みやぎの叡智 宮城県図書館所蔵貴重書の世界』を発行し、市町村図書館、学校等に配布しました。概要は報告書として発行しました。

さらに従来から進めてきた「貴重資料保存修復事業」と「次世代育成プロジェクト」の 2 つの柱についても、さまざまな企画事業を推進しました。「貴重資料保存修復事業」の分野では、貴重資料の専門調査、資料評価を基にした文化財指定の準備を進め、平成 19 年 10 月に『奥羽観蹟聞老志』(20 冊)、『風土記御用書出』(66 冊)が指定されました。この結果、国・県を併せた文化財（登録文化財を含む）の指定件数は 32 件 7,871 点となりました。傷みの激しい貴重資料の修復とデジタル化、レプリカ作成等も実施し、修復資料の成果、レプリカ等の特別展示は 3 月に本館で開催しました。さらに昨年に引き続き、秋田県立図書館との図書館交流展として、10 月に「秋田県立図書館所蔵貴重書の世界」を開催し、記念講演会等も開催しました。

「次世代育成プロジェクト」の分野では、学校を中心とした事業として、『源氏物語』や『名所江戸百景』等の古典文学・浮世絵の複製資料、夏目漱石『吾輩八猫デアル』等の近代文学複製本の高校への貸出し、子どもの本の小学校への移動展示会等を行いました。一般県民対象としては、職員の発意による企画展のほか、職員の自主企画「プロジェクト 22」（「蔵書票を作ってみよう」「図書館ツアー」等）を実施し、多くの県民の方にご参加いただきました。このほか、閉架書庫の見学案内、『坤輿万国全図』『仙台領国絵図』等文化財レプリカの学校・公共図書館等への貸出し、市町村、学校図書館等関係職員から寄稿をいただき、図書館紀要『叡智の杜』（第 5 号）の発行などを行いました。

また、平成 20 年 2 月 1 日には、「第 3 次宮城県図書館情報ネットワークシステム（以下、「第 3 次図書館システム」）の運用を開始しました。第 3 次図書館システムは、基幹システムである「職員用業務システム」と、これまで段階的に追加してきた 2 つのサブシステム（「利用者用館内蔵書検索システム」と「インターネット蔵書検索システム」）の 3 システムについて、データベースと機器類を一括更改し、「統合システム」として構築しました。蔵書検索機能の向上、自動貸出機 3 台の導入等により、図書館サービスの質的向上が図られました。音と映像のフロアは新たなサービス展開を図るため、ブースでの視聴サービスを廃止しました。

図書館サービスについては、年間個人貸出冊数は 922,506 冊となり、前年度より 35,728 冊の減少となりました。一方、市町村図書館等への協力貸出資料は 22,514 冊となり、前年度比 606 冊減少となりました。本館ボランティア活動では平成 10 年 3 月の移転開館から活動をスタートしたボランティアの方々への「感謝の集い」を 2 月に実施し、感謝状を贈りました。また、平成 18 年度から登録年限を 2 年間とし（ただし音訳は 4 年間）、平成 20 年 3 月末には初めての登録年限満了者が 58 名でした。

2 平成19年度予算

(単位：千円)

区 分	当初予算額	概 要
管 理 経 費	242,336	本館の運営維持費（定員内職員の人件費を除く）
図 書 館 協 議 会	434	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	15,384	機器使用料，消耗品等に要する経費
市 町 村 支 援 費	54,859	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	1,000	主催事業，広報等に要する経費
資 料 購 入 費	53,694	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	15,924	本館所蔵貴重資料の修復，写真撮影，デジタル化及びレプリカ制作等に要する経費
合 計	383,631	

3 実施事業概要

(1) 企画協力班

イ 「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」

・「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト 宮城県図書館を核とした次世代育成の試み」は平成19年度文部科学省「地域の図書館サービス充実支援事業」のモデル指定を受け、平成16年度から実施してきた本事業の成果を踏まえて、これまで以上に地域への広がり、学校との連携を目指し、地域に役立つ図書館の在り方を探りました。本プロジェクトは「宮城県図書館・叡智の杜づくり」実行委員会（委員長は東北工業大学教授・矢内諭氏。委員7名）が実施主体となり、企画協力班が事務局を担当し、事業の企画立案、「報告書」の発行、普及啓発誌『みやぎの叡智 宮城県図書館貴重書の世界』の編集、発行などを行いました。

・平成16年度から実施してきた、本館総合戦略プロジェクト「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」の事務局として、本事業の2つの柱である「貴重資料保存修復事業」と「次世代育成プロジェクト」の企画立案、運営を行いました。全職員参加のもと、市町村図書館、公民館図書室、学校、地域社会との連携を図りながら事業を推進する取り組みを行いました。

本事業の概要と平成19年度実績については、「4 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」として掲載しました。

ロ 広報活動

- ・宮城県図書館だより『ことばのうみ』第25号から第27号まで、年3回発行し、一般県民をはじめ県立学校、大学等の関係機関及び全国都道府県図書館等に配布しました。
- ・ホームページでは、平成20年2月、第3次宮城県図書館情報ネットワークシステムの更改により、よりわかりやすい情報提供をするために画面デザイン等をリニューアルしました。
- ・地元FM局（エフエムいずみ）で毎月第二木曜日の地域情報コーナーに本館職員が出演し、企画展・イベント等の広報を行いました。
- ・一般県民の施設見学、小中学校・高等学校の児童・生徒による調べ学習、職場体験などを行い、64団体（延べ1,432人）を受け入れ、図書館理解と利用の促進を図りました。

ハ 市町村図書館・公民館図書室等への支援

- ・県民の図書館サービス享受を実現するために、市町村図書館・公民館図書室への資料提供（本館所蔵資料の協力貸出）を行いました。協力貸出冊数は23,872冊で、県内市町村図書館・公民館図書室等に22,514冊を貸出し、前年度比3.0%減となりました。
- ・協力貸出資料（相互貸借資料を含む）は、宅配便により、各市町村図書館、公民館図書室等に宛てて、毎週水曜日（年間49回）に発送しました。
- ・市町村図書館の運営支援、情報提供のための巡回相談事業は、20館を対象に、各館あたり年間3回の巡回を基本としました。巡回コースは20館を7コースにわけて実施し、延べ21日間行いました。
- ・市町村図書館との連携を強化するため、公共図書館連絡会議を2回（5月と11月）開催しました。会議では、地域性を活かした実践例の紹介や図書館サービスの現状と課題について、また宮城県図書館情報ネットワークシステム（MY-NEET）活用方法等についての協議も行いました。

ニ 市町村図書館・公民館図書室職員研修会

- ・市町村図書館及び公民館図書室職員等の資質の向上と専門知識の習得等を図るために、初任者研修会、公共図書館等館長研修会、職員研修会1・2、公民館図書室担当職員研修会を開催しました。職員研

修会1は、美里町小牛田図書館と亘理町立図書館を会場として、レファレンスサービスのワークショップを実施しました。

ホ 宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)の整備・充実

- ・MY-NETの参加館は41館で、山元町公民館図書室が新規参加しました。インターネット公開の県内総合目録は気仙沼市図書館が登録し、参加館16館となりました。

ヘ 図書館未設置町村への図書館振興策

- ・図書館の設置や利用促進の気運を醸成するために、5月の「図書館振興の月」にちなんで、松島町において宮城県図書館振興講演会を開催しました。東北福祉大学大島真理先生の講演の他、地元松島町の読み聞かせグループ「おはなしころころ」によるおはなし会、協力貸出や音訳サービスのデモンストレーション、本館貴重資料(レプリカ)展示会なども行いました。

ト ボランティア活動支援

- ・社会教育施設でのボランティア活動の機会を広げるために、ボランティア募集を行いました。新規登録は71人で、ボランティア登録者は延べ129人となりました。全体研修会のほか、活動内容ごとの専門講座として、一般書架整理(登録者40人)、児童書架整理(同12人)視聴覚整理(同20人)、読み聞かせ(同20人)、音訳(同30人)、図書館案内(同28人)を実施しました。
- ・本館ボランティア活動がスタートしてから10周年を迎えることを記念して、2月に「ありがとう!10周年 ボランティア感謝の集い」として、感謝状の贈呈式と記念講演を実施しました。
- ・平成18年度にボランティア登録年限制度(一般2年間、音訳4年間)を採用して、初めての登録年限満了者が58名ありました。

チ 生涯学習相談

県民の主体的・自発的な学習活動を支援するため、必要な情報を提供するとともに、学習者が直面する様々な問題や悩みの解決に向けて助言等を行いました。相談件数は年間973件(面接相談746件、電話相談227件)で、生涯学習室への入室者数は3,851人となりました。

リ 生涯学習推進月間事業

10月の1ヶ月間を通して、宮城県図書館の特徴を生かしながら生涯学習に関する7種類の行事を行いました。オーストラリアワイルドフラワー作品展、古典教室など、多くの県民の方々にご参加いただきました。

(2) 調査班 調査相談

イ レファレンス業務

今年度の個人レファレンス総件数は12,796件で前年度比約7%増となりました。依頼内容については広範囲に及んでいました。図書館間の協力レファレンス依頼は、県外1件を含む79件(前年度比約30%減)となりました。件数の減少の原因としてはインターネットの普及と利用が考えられます。

ロ 協力借受

利用者の希望により、県内外からの本の借受件数は873件でした(県外163件を含む)。この中には、郵送貸出者(障がい者サービス利用者)への郵送24件を含みます。

ハ データベースの利用

データベースの利用は前年度比18%減の485件でした。最も利用頻度が高いのが東京商工リサーチの『CD・Eyes50 T S R企業情報ファイル』でした。今年度は「データベース講習会」としてこの『CD・Eyes50 T S R企業情報ファイル』の利用講習会を5回開催しました。

インターネット利用端末は合計4台で利用件数は7,781件でこれは端末機1台/日当たり6.7回の利用状況になります。

(3) 調査班 逐次刊行物

イ 整理状況

- ・継続受入タイトルとして、2,811タイトル(購入814タイトル,寄贈1,997タイトル)を受け入れ,整理しました。
- ・県域の資料保存センターとして,県内市町村図書館からの移管雑誌を521タイトル,4,904冊受け入れ,整理しました。
- ・資料費の削減に対応して,2008年1月から外国雑誌(19タイトル)の購入を中止しました。また,新聞のマイクロフィルム購入を一部見合わせました。

ロ 利用状況

- ・調査相談件数(館内案内含む)は口頭・電話・Eメール・FAX等合わせて1,830件で,前年度比1,953件の減となりました。
- ・閉架書庫資料の出納冊数は4,271人(件)55,490冊(前年度比7,127冊減),複写枚数(マイクロフィルムからの複写を含む)は56,952枚(前年度比2,139枚減)となりました。
- ・データベース利用件数は河北データベースが208件(前年度比98件減),朝日新聞データベースは161件(前年度比15件減),官報は32件(前年度比1件増),雑誌記事索引・企業情報等のCD-ROMが155件(前年度比23件減)の利用がありました。
- ・当館で所蔵していない資料の他館(国立国会図書館・大学図書館等)への複写依頼件数は448件(前年度比73件減)でした。また,他機関から当館への依頼は237件(前年度比258件減)でした。
- ・障がい者サービスでは,新聞のコラム,川柳,経済指標,テレビ・ラジオ欄,将棋および週刊誌の記事の電話音訳が延べ130人(前年度比7人減),点字雑誌の貸出利用は延べ49人122冊(前年度比3人増・4冊増)となりました。
- ・マイクロフィルムリーダー・プリンターの利用者は延べ1,119人(前年度比170人減)でした。

ハ その他

- ・今年度も県内公共図書館の逐次刊行物の購入状況を調査し,「県内公共図書館 雑誌・新聞購入一覧」を作成・配付しました。
- ・ビジネス支援コーナーについては引き続き,関係機関・団体,金融機関等から資料を収集・配架し,コーナーの充実に努めました。
- ・各種企業・団体のCSR報告書330社分(前年度比件40社分増)を収集し,配架しました。

(4) 調査班 みやぎ資料室

イ 宮城県指定有形文化財指定

- ・以下の本館所蔵資料が県指定有形文化財に指定されました(平成19年10月26日)。

書跡典籍

『奥羽観蹟聞老志』	20冊
『風土記御用書出』	66冊

ロ 貴重資料専門調査事業

- ・文化財指定に向け,5名の専門調査員による本館所蔵資料の詳細な調査・評価を行い,報告書を作成しました。調査は延べ19日間実施しました。

八 整理状況

- ・図書は1,703冊(購入531冊, 寄贈1,172冊), 地図は11枚(購入)を整理しました。
- ・逐次刊行物は, 継続タイトルの整理に加えて, 新規に雑誌・新聞207タイトル, 行政資料21タイトルを受け入れ整理しました。

二 利用状況

・調査相談件数

調査の内容は郷土史や地誌に関するものが多く, 県内のみならず全国からも多数の照会がありました。

依頼区分	口頭	電話	文書	メール	協力レファレンス	計
件数	6,966件	807件	71件	99件	45件(県内25, 県外20)	7,988件

注:「協力レファレンス」は県内公共図書館・公民館図書室, 県外図書館からの調査相談

ホ 資料の利用状況

- ・閉架書庫資料の利用は図書2,578冊(古書複製本含む), 逐次刊行物2,492冊, 古書2,455冊になりました。
- ・複写サービス(マイクロフィルム, カラーコピー含む)の利用は7,851冊で56,448枚。資料保存上電子複写ができない古書等の写真撮影(カメラは利用者持参)は34人, 104冊, 2,535コマでした。
- ・古書の特別利用は合計148件1,790冊に上りました。博物館等の展示への特別貸出は24件182冊, 出版物への掲載等85件269冊, 写真撮影30件825冊, テレビ放映等が9件514冊でした。

へ その他

- ・逐次刊行物の蔵書点検, 冊数調査をしました(総冊数116,808冊)。

(5) 利用サービス班 一般図書

イ 利用状況

- ・個人利用者の年間新規登録者数は9,671人で, 年度末現在の登録者総数は, 235,205人になりました。
- ・今年度の貸出冊数は542,020冊となり, 前年度より16,499冊減少しました。
- ・障がい者サービスとしての一般図書の郵送貸出は, 年間297件1,100冊の利用でした。

ロ 資料整理状況

- ・購入8,841冊, 寄贈1,731冊の受入・整理を行いました。

ハ その他

- ・職場体験学習は, 中学校7校・高等学校3校・養護学校2校計34人の生徒を受け入れました。
職場体験学習の受入件数等については, 図書館で受け入れた総数を掲載したものです。
- ・特別整理期間には, 本棚の整理や清掃を実施しました。
- ・3階フロアに自動貸出機を2台設置し, 2月下旬から運用を開始しました。
- ・月毎, 職員による本の紹介(「私の一冊」)をしました。(年間12回)
- ・新着図書に付随する帯を文学・ノンフィクション等に分け掲示し紹介しました。
- ・新たに受け入れた本の目録(「新刊図書等のご案内」)を作成し紹介をしました。(年間40回)

(6) 利用サービス班 視聴覚資料

イ 利用状況

平成19年度の個人貸出点数は175,553点(平成18年度192,006点)で, 昨年度と比べ16,453点の減となっています。開館日1日あたりの貸出点数は609.6点で昨年度と比べ64.1点の減となっています。媒体

別に見ると貸出点数の45.7%がビデオテープ，49%がCD，4%が楽譜となっています。

20年3月から当初100点で貸出しを始めたDVDは，順次貸出点数を増やし，3月末で400点となりました。利用点数を一人1点としているため，一日約15～20点の利用数ですが，20年度内には，800点を目標に準備を進め，利用率を伸ばしていきたいと考えています。

障がい者サービスとしての朗読テープ，ビデオ，CDの郵送貸出数は1,669点で，前年度比257点の増になり，ここ数年利用率が増加している傾向です。

ロ 資料整理状況

今年度の購入資料点数は306点で，DVD(176点)，ビデオテープ(9点)，カセット(120点)を中心に県民の学習ニーズ，教育の今日的課題，保存の必要性(郷土資料を含む)の視点から収集，受入・整理を行いました。また，寄贈資料を含めて，589点の整理を行いました。

ハ 館内視聴サービス

本年度の利用状況は下表のとおりでした。利用者数で前年度比12,031人減となっています。

開館1日あたりの利用者数は約110名です。

開館当初から続いていた館内視聴システムは，20年1月末をもって全面廃止となりました。10年間の利用者数の合計は，456,636人にのびりました。

館内視聴システム廃止に伴い，今後はこれまで館内上映に使用していたDVDの個人貸出を可能な限り実施していきます。

館内視聴ブースの利用受付件数・利用者数

年度	受付総数 (件)	資料別内訳						利用者数 (人)
		ビデオ	LD	CD	CD-ROM	DVD	その他	
19	22,252	8,619	932	56	105	12,497	43	31,623
18	32,391	12,534	1,253	164	152	18,252	36	43,654
17	32,999	12,740	1,222	126	230	18,647	34	45,319
16	35,077	13,487	1,517	216	354	19,464	39	48,331

ニ 上映会，LDコンサート

年間50回の上映会を実施し，479人の参加者がありました。1回当たりの参加者数は9.6人でした。

ヘ 音楽鑑賞講座

クラシック音楽に関する講義と鑑賞，在仙演奏家によるミニコンサートを併せて実施しました。

110名の申込があり，90名の参加がありました。

ト その他

11月からの特別展において，「視聴覚資料のあゆみ - 県図書館と視聴覚資料 - 」というテーマで，ナトコ映写機とCIE配給16mm映画を中心とした資料展示を行いました。

また，宮城県視聴覚ライブラリーとして，宮城県視聴覚教育連絡協議会に参加し，「宮城県自作視聴覚教材コンクール」の運営支援を行いました。

(7) 利用サービス班 児童資料

イ 利用状況

・就学前の子どもの登録は883人で，前年度に比べて730人の減となりました。

・学校からの文書による申請があった「調べ学習」は、中学校3校、延べ235人の利用がありました。また、「職場体験学習」は、中学校5校、高等学校は2校、特別支援学校2校、延べ25人の受入をしました。

・児童文化資料（宮城県立保育専門学院からの寄贈）の貸出は、29団体、延べ177点の利用がありました。

□ 資料整理状況

- ・図書4,925冊（購入4,888冊、寄贈37冊）、紙芝居6点（購入）を整理しました。
- ・配架区分の見直しをして、書庫出納作業の効率化を図りました。（こども書庫2の設定）
- ・児童資料研究室書架の配架方法を見直し、配架スペースを拡充させました。

八 行事・その他

・第38回子どもの本展示会を4月25日～5月6日まで開催し、延べ796人の入場者がありました。また、県内公共図書館・公民館図書室のうち希望機関への移動展示会を行い、19会場で延べ4,853人の入場者がありました。

・小学校への移動展示会は、希望校59校で開催、入場者は14,861人ありました。

・「ブックツリーカード」読書記録カードの配布をしました。

・「おすすめの本1冊」を募集、年4回子ども図書室に掲示紹介をしました。

・職員による「おはなし会・紙芝居の上演会」を月1回、実施しました。

・こどもの本展示会の期間中に展示会場に「1年間に貸出しの多い絵本と読み物の本の紹介」を掲示しました。また、展示会終了後、こども図書室に掲示しました。

・月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行（92号～103号）しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。来館者及び県内図書館等に配布し、ホームページにも紹介をしました。

4 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業

事業の概要と平成19年度の実績

1 事業の理念と概要

この事業は、宮城県図書館に継承された知の集積を活用し、次代を担う人たちに自信と誇りをもって語れるふるさとや日本の歴史や文化をしっかりと伝えていこうとする、総合戦略プロジェクトです。

「貴重資料保存修復事業」と「次世代育成プロジェクト」の2つの部門に合計12のメニュー（事業）を設け、平成16年度を初年度に15カ年計画を立てています。

「貴重資料保存修復事業」は貴重資料の体系的学術調査、国・県有形文化財の指定に向けた準備、修復保存・レプリカの作成、修復成果品・レプリカの公開の4つのメニューで構成されています。

本館特殊コレクションである「伊達文庫」「養賢堂文庫」「青柳文庫」等の古典籍（総計約57,500冊；和古書およそ38,000冊、漢籍・韓書19,000冊、古洋書500冊）などの貴重資料を対象に実施し、平成19年度には『奥羽観蹟聞老志』（1件20点）と『風土記御用書出』（1件66点）が県有形文化財の指定を受けました。本事業の成果は3月に本館で展示会を開催し、一般公開をしました。

「次世代育成プロジェクト」は図書館の知的財産、人的資源を活用し、22世紀のふるさと・みやぎを牽引する人材を育てようとする事業で、古典・浮世絵への誘い（対象；高校、市町村）、名作への誘い（同）、子どもの本の移動展示会（市町村、小・中学校）、文化財レプリカの移動展示会（高校・市町村）、閉架書庫の見学（市町村、学校司書）、本館紀要『叡智の杜』への市町村、学校司書の参加（市町村、学校司書等）、貴重資料等の企画展示会（一般）、プロジェクト22（一般）など8つのメニューで構成されます。これらのメニューの実施にあたっては、それぞれ図書館、教育現場、地域社会の三者による連携を描いています。

また、平成19年度、本事業は文部科学省「地域の図書館サービス充実支援事業」のモデル指定を受け、「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト 宮城県図書館を核とした次世代育成の試み」として、白石市図書館、松山高等学校、登米市教育委員会、登米地方振興事務所を地域拠点とした連携を展開し、地域モデルの開発を行いました。

2 貴重資料の修復保存事業

(1) 貴重資料の体系的学術調査

他の事業よりも早く平成15年度を初年度として第1次調査が実施され、『禽譜』『関算四伝書』等についての評価を行い、報告書を作成しました。平成16年度から平成18年度までの各年度に、第2次、第3次、第4次調査を実施し、平成19年度の第5次調査では、東亜大学教授・川村博忠氏ほか計5名の専門調査員により、『国絵図』、和算関係資料、郷土資料などを対象に調査、報告書を作成しました。

(2) 国・県有形文化財の指定に向けた準備

本館所蔵貴重資料を対象に、(1)の「貴重資料の体系的学術調査」の調査報告等に基づき、国・県有形文化財指定への準備を進めるものです。平成19年10月には、『奥羽観蹟聞老志』と『風土記御用書出』の2件86点が県有形文化財に指定され、平成20年3月末現在、国・県を併せた文化財（登録文化財を含む）の指定件数は32件7,871点となっています。

(3) 資料の修復・保存とレプリカの作成

本館収蔵の貴重資料の損傷を修復し、写真撮影、高精細画像データとレプリカを作成するもので、平成16年度から15カ年の長期計画により進めてきました。修復にあたっては文化庁の指導のもと、国宝修理装こう師連盟の手によって行われています。平成19年度は『仙台領国絵図』『仙台領際絵図』（福島梁川領境）の2舗を修復し、また『陸奥国仙台領海際絵図』1舗のレプリカを作成しました。合わせて写真撮影を行い、デジタルデータ（画像）も制作しました。

(4) 修復成果品・レプリカの公開

「貴重資料保存修復事業」の成果と意義、及び貴重資料の価値を広く県民に公開することを目的に、本館展示室において修復成果品やレプリカの展示会を実施するとともに、本館ホームページでデジタルデータを公開しています。

平成19年度は、『禽譜』『魚蟲譜』『仙台領内道程絵図』等のレプリカ展示会を本館で行いました。展示用に作成した『環海異聞』『宮城県漁具図解及び略解』の写真パネルもあわせて展示しました。

3 次世代育成プロジェクト

(1) 「古典・浮世絵への誘い」 県内高等学校等を会場とした古典文学複製本の貸出

高等学校の授業にも登場する『源氏物語絵巻』『徒然草』等、古典文学の複製資料約5点を1セット（全7セット）とした貸出を実施するものです。

平成19年度、高等学校では、登米高等学校、宮城県第二女子高等学校など6校に貸出し、この内宮城野高等学校では『奥の細道図巻』『富嶽三十六景』（複製資料）を活用した授業が実施されました。また市町村では登米公民館（登米市）、加美町中新田図書館、白石市図書館など8施設に貸出し、展示会が行われました。

「浮世絵への誘い」としては、『東海道五十三次』『富嶽三十六景』等の複製資料を1セット（全14セット）として、図書館他施設に6施設、県立高校では上沼高等学校、迫桜高等学校など5校に貸出し、学校行事等において展示会が開催されました。

(2) 「名作への誘い」 県内高等学校等を会場とした近代文学複製本の貸出

夏目漱石の『吾輩八猫デアル』、芥川龍之介の『羅生門』、石川啄木の『悲しき玩具』等、近代文学を代表する作品（初版本）の複製本40冊を1セット（全2セット）とした貸出を実施し、名作を美しい装丁とともに鑑賞する機会を設けています。

平成19年度は仙台東高等学校と涌谷高等学校の2校に貸出しました。

(3) 「子どもの本の移動展示会」

現在、本県では子ども読書推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもに本との出会いの機会をより多くつくる試みです。従前には、市町村図書館、公民館図書室において開催してきた「子どもの本の展示会」について、会場を県内小学校にまで拡大して実施するものです。

平成19年度は、市町村図書館、公民館図書室では計19館で開催され、入場者数は4,853人、また小学校59校でも開催され、入場者数は14,861人となりました。

(4)「文化財レプリカの移動展示会」 県内高等学校・市町村図書館等を会場とした文化財レプリカの移動展示会

本館貴重資料・文化財レプリカの移動展示会を，県内高等学校，市町村図書館等を会場に開催するものです。

平成 19 年度は，美里町近代文学館，加美町小野田図書館など 15 会場において，『坤輿万国全図』『禽譜』等レプリカの展示会を開催しました。佐沼高等学校，松山高等学校では，文化財レプリカを活用した行事が実施され，生徒たちと文化財のふれあいの場をつくることができました。登米市中田生涯学習センターでは，移動展示会に伴い，本館館長による出前講座も行いました。また，人事交流を契機として，秋田県立図書館所蔵の貴重資料（レプリカ）展示会を本館で開催し，展示解説，記念講演会等も行いました。

(5)「閉架書庫の見学」 市町村図書館・県内高等学校の司書等を対象とした閉架書庫見学

県内高等学校の図書館司書や図書委員等を対象に，教育の場において，約 100 万点に及ぶ本館資料の活用を促すことを目的に実施しています。本館職員の案内のもとで閉架書庫の見学を行いました。

平成 19 年度は，宮城県松山高等学校の教員と生徒計 12 名のほか，山形県立山形工業高等学校，宮城県高等学校図書館研究会司書部会職員など 8 団体，計 180 名が閉架書庫を見学し，本館資料と機能についての理解を深めました。

(6) 宮城県図書館紀要『叡智の杜』への寄稿 市町村図書館・県内高等学校の司書による寄稿

市町村図書館職員，学校図書館司書との連携を強化し，相互にレベルアップを図るため，論文，研究レポート，読書活動の事例報告などについて，本館紀要『叡智の杜』への寄稿をしていただくものです。

『叡智の杜』は平成 15 年度に創刊され，平成 19 年度の第 5 号においては，「蔵王町立図書館事業報告」（蔵王町立図書館司書），「古典への誘い展 国宝（複製）の絵巻物をみてみよう」（登米高等学校司書）等，11 名から寄稿がありました。

(7) 貴重資料等の企画展示会

本館展示室を会場として，国・県の文化財指定を受けた貴重資料等の特別展示会「きらめく叡智と美のしづく展」をシリーズで開催しています。第 1 回は平成 15 年 2 月に『禽譜』『関算四伝書』等の伊達文庫収蔵貴重書を中心に紹介しました。平成 19 年度は第 7 回目を開催し，県指定有形文化財『奥羽観蹟聞老志』と『風土記御用書出』等の展示を行いました。

また，平成 16 年度に本館職員の自由な発案を活かした企画展示会をスタートさせましたが，平成 19 年度は，『図書館式タイムトリップ バックトゥ 1987』『韓くにの風にふかれて』等 7 回実施しました。

(8)「プロジェクト 22」 宮城県図書館活用推進事業

平成 16 年度にスタートした新規プロジェクトで，図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに，図書館資料，施設を活用して各種の行事を企画，運営するものです。本館職員によるチーム（各 3～6 人）を編成し，次のような行事を実施しました。

A チーム：「アヒルと左吾平」～スクリーンの中の宮城～

宮城県は豊富な自然や歴史・文化遺産など優れたロケーションに恵まれ，映画やドラマなど数多くの映像制作のロケ地として利用されています。映像として切り取られた資料から，作成当時の郷土の姿を浮き彫りにすることをねらいとし，宮城で撮影された「アヒルと鴨のコインロッカー」のロケ風景や，

撮影場所地図、地域資料の展示とともに、「三尺左吾平」など戦中の映像資料、図書等の展示を行いました。8月4日から10月4日までの企画展として実施しました。

Bチーム：「Exlibris 消しゴムはんこで蔵書票を作ってみよう」～大切な1冊にさらなる愛情を～
蔵書票とは“自分が所蔵する本であること”を示すために、愛蔵書の見返しに貼る紙片です。ヨーロッパでは15世紀中頃に始まり、日本では1900年に雑誌『明星』で紹介されました。蔵書票には“紙の宝石”と呼ばれる芸術的な面と、本を慈しむ愛書の二面性を持っています。本を取り巻く様々な歴史を蔵書票づくりを通して解説し、本の貴重さ大切さを再認識してもらうことをねらいとして11月に実施し、9名の参加がありました。

Cチーム：「おらほの方言紙芝居『きてみてけらいん』」
現在、耳にする機会の減ってしまった地元「みやぎ」に伝わる方言を、紙芝居の読み聞かせ上演を通して親しんでもらうことをねらいとしました。昔懐かしい街頭紙芝居（複製）も同時展示しました。11月に実施し、参加者は41名でした。

Dチーム：「鯨にまつわるエトセトラ」
県政ニュースの映像から宮城沿岸での捕鯨の様子を紹介するほか、メンバー6名からは鯨に関するテーマ（捕鯨の歴史、工芸品、『鯨』という漢字、座礁、食文化、野球）を発表し、様々なアプローチを試みました。12月に実施し、16名の参加がありました。

以上、「プロジェクト22」の4つの企画に加えて、前年度の成果を踏まえて、「図書館ツアー」を定例化して隔月実施しました。図書館ツアーは計5回で、延べ54名の参加がありました。「データベース講習会」は各5回実施し、延べ11名が参加しました。

「プロジェクト22」における取り組みは、県民の図書館理解を促す機会となりましたが、同時に職員の意識向上、組織の活性化を図る好機ともなりました。

4 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト 宮城県図書館を核とした次世代育成の試み」

「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト（以下「叡智の杜プロジェクト」）は平成19年度文部科学省「地域の図書館サービス充実支援事業」のモデル事業として企画、実施しました。平成16年度から実施してきた、本館の総合戦略プロジェクト「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」の新たな飛躍を期す段階と位置づけ、宮城県図書館が核となり、『これからの図書館像』（文部科学省報告書・平成18年3月）を念頭に、市町村図書館、学校教育現場、社会教育施設、民間団体等関係機関等との連携のもと、地域に役立つ図書館のあり方を探ろうとするものです。

本プロジェクトのねらいは、本館と関係機関が協力して、次代を担う人たちを育成すべく、それぞれが集積、保存してきた資料の活用策を探り、さらに、図書館員の意識改革と資質、能力の向上につとめ、地域に役立つ図書館づくりの推進をはかることとしました。

プロジェクトの事業内容は、次の5事業を柱に実施しました。

地域サービス推進事業（「叡智の杜」展示会&セミナー）

学校支援推進事業（「叡智の杜」展示会&特別授業）

地域プロジェクト支援事業（地域版「叡智の杜」プロジェクト開発・実施）

人材育成事業（「叡智の杜」チューター研修）

普及啓発事業（『みやぎの叡智 宮城県図書館貴重書の世界』の刊行、事業報告書の刊行）

(1) 実行委員会

本プロジェクトは、「宮城県図書館・叡智の杜づくり」実行委員会が主体となって展開しました。

	氏名	所属・職名
委員長	矢内 諭	東北工業大学 教授
副委員長	齋藤 弘子	宮城県図書館協議会 委員
委員	高橋 昌	白石市教育委員会 教育長
委員	平間 啓子	白石市図書館 館長
委員	奥山 恒義	宮城県松山高等学校 校長
委員	岩間 利裕	宮城県登米地方振興事務所 副所長
委員	武田 功	宮城県教育庁生涯学習課 課長
委員	伊達 宗弘	宮城県図書館 館長
事務局	田村 豊	宮城県教育庁生涯学習課 課長補佐
事務局	内馬場 みち子	宮城県図書館企画管理部企画協力班 班長
事務局	田代 恭子	同 主事

(2) 事業概要

地域サービス推進事業

市町村図書館、公民館等の地域の社会教育施設や、学校、県地方振興事務所等の関係機関と連携して、「叡智の杜展示会&セミナー」を開催し、多くの県民の皆様にご来場いただくことができました。

登米市は、平成17年4月1日に旧9町が合併して誕生しました。本プロジェクトでは、合併により拡大した市域において学校、行政、公民館が連携して、地域の歴史、「みやぎの叡智」の再発見に多彩な取り組みを試みました。

11月には、登米市内の中田生涯学習センター、石越公民館、米山公民館、登米公民館において、本館が所蔵する国・県指定有形文化財のレプリカ展示会を行いました。また、宮城県登米合同庁舎においては「古典への誘い in 登米」をテーマに、レプリカ展示会(12月5日-13日)と県図書館職員によるセミナー「西行法師のみちのく旅」(12月13日)を開催しました。登米市東和総合支所などでは、宮城県図書館長出前講座を行いました。

このほか、上沼、佐沼、登米、米山の各県立高等学校においては、古典や浮世絵レプリカの展示会を行い、多くの地域の方々にご来場いただくことができました。

学校支援推進事業

学校図書館が地域に開放された図書館サービス拠点として機能することを目指して、宮城県松山高等学校を地域拠点として、教員や図書館司書との連携による「叡智の杜展示会&特別授業」を開催しました。

松山高等学校では、1600年代に中国で作られた世界地図『坤輿万国全図』(国指定重要文化財)レプリカなどを文化祭で展示した(「世界図で遊ぼう」)ほか、『坤輿万国全図』を活用した社会科の授業を行いました。授業は、社会科教諭と学校司書によるティームティーチング形式で、生徒が自作した副教材「大崎市松山地区のガイドマップ」や「『世界図で遊ぼう』年表」も用いられました。

また、家政科(保育コース)の生徒を対象に宮城学院女子大学の足立智昭教授を迎え、「絵本で学

「ぶ幼児期の人間関係」と題しての特別授業を行い、絵本を通じたソーシャルスキル（良好な人間関係を形成、維持する知識と技能）の身につけ方などを学びました。特別授業で紹介された絵本は『ぼくひとりだけでできるよ』（リリアン・ムーア／著 フィアメンギ／絵 神宮輝夫／訳 偕成社 1977年）、『おさるはおさる』（いとうひろし／作・絵 講談社 1991年）の2冊です。

この特別授業は、叡智の杜づくりを担う図書館や地域施設の職員を対象とした「チューター研修会」として、高等学校の図書館司書、保育士等の関係者も参加しました。

地域プロジェクト支援事業

地域版「叡智の杜」プロジェクト開発・実施を目指して、白石市図書館を地域拠点として、地域の歴史、文化資料の掘り起こしによる「叡智の杜展示会&セミナー」の開催、次世代への啓発活動を実施しました。

白石市では、平成19年9月に「白石市子ども読書活動推進計画」を策定しその記念行事として、12月2日、白石市中央公民館を会場に「志茂田景樹隊長の読み聞かせ&後援会～親子で楽しむ！きずなが深まる！」を開催しました。図書館ボランティア、小学校、幼稚園、保育所関係者、白石市子育て支援室担当職員とも連携した運営がなされました。

また白石市図書館は、平成19年度の重点目標として「郷土資料の充実と郷土に対する正しい理解を支援する」ことを掲げました。これを受けて、本プロジェクトによる事業として「地元作家を知る月間（11月）」を開催、白石市出身の小野勝美氏（拓版画家、作家）の著作の展示会と講演会を行いました。

12月には「古典への誘い in 白石」をテーマに、白石市図書館が所蔵する『猩々ノ図』（白石出身の画家・小関雲洋が描いた板戸絵）や宮城県図書館所蔵の『源氏物語絵巻（徳川本複製）』・浮世絵『名所江戸百景（複製）』展示会を12月8日から14日まで開催。ギャラリートークでは白石市博物館準備室学芸員と白石市図書館職員、宮城県図書館司書が連携して展示解説を行いました。

12月22日の「第5回白石歴史おはなし会」（全10回シリーズ）では、宮城県図書館・伊達宗弘館長が「武將歌人 伊達政宗と白石」と題して講演を行いました。

人材育成事業（「叡智の杜」チューター研修）

叡智の杜づくりを効果的に推進するために、セミナー・特別授業などの実践者や講師（＝チューター）を対象に、図書館のあり方や資料等についての研修、情報交換などを実施しました。

11月30日には、宮城県図書館司書、職員の専門研修として、本館所蔵貴重書『環海異聞』（15巻首1巻／大槻玄沢・志村弘強編著 写本16冊）の歴史資料としての価値について、東北大学教授・平川新氏を迎え研修を行いました。

普及啓発事業（『みやぎの叡智 宮城県図書館貴重書の世界』の刊行、事業報告書の刊行）

「叡智の杜づくり」を効果的に進めるために、「叡智の杜展示会&セミナー、特別授業」等で活用する普及啓発誌『みやぎの叡智 宮城県図書館貴重書の世界』を編集し、発行しました。

本書はB5版、56ページの体裁で、本館が所蔵する貴重資料のなかから、国指定重要文化財『坤輿万国全図』（版本、彩色写本＝17世紀の世界地図）、県指定有形文化財からは江戸時代における博物学の精華『禽譜』（鳥類図鑑）、『魚蟲譜』（魚類図鑑）、さらに『仙台領国絵図』など仙台藩にかかわる多数の絵図類などについて、およそ60点の図版を収録し、それぞれに解説を付しました。

それら資料に係るコラム、資料をめぐる年譜、参考資料なども掲載しました。
また、本プロジェクトの成果をガイドブック（報告書）として発行しました。

この稿は「3 実施事業概要」及び「5 主催事業の概要」等の記載内容と重複していますが、
「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」としてまとめたものです。

5 主催事業の概要

1 特別展

回	開催期間	タイトル
1	平成 19 年 3 月 3 日(土) ～ 5 月 31 日(木)	「きらめく叡智と美のしづく展」 - 文化財指定からその活用まで -
2	平成 19 年 6 月 2 日(土) ～ 8 月 2 日(木)	「叡智の杜への誘い」 複製資料活用のすすめ
3	平成 19 年 8 月 4 日(土) ～ 10 月 4 日(木)	宮城県図書館活用推進事業 プロジェクト 22 「アヒルと左吾平」 スクリーンの中の宮城
4	平成 19 年 10 月 6 日(土) ～ 12 月 6 日(木)	秋田県立図書館交流展 「秋田県立図書館所蔵貴重書の世界」 旧秋田藩主佐竹家所蔵資料複製
5	平成 19 年 12 月 8 日(土)～ 平成 20 年 3 月 2 日(日)	「視聴覚資料のあゆみ」 県図書館と視聴覚資料 県図書館と視聴覚資料
6	平成 20 年 3 月 4 日(火) ～ 5 月 31 日(土)	「きらめく叡智と美のしづく展」 平成 19 年度県指定文化財等を公開

2 企画展

回	開催期間	タイトル
1	平成 19 年 4 月 10 日(火) ～ 5 月 31 日(木)	「図書館式タイムトリップ バックトゥ 1987」
2	平成 19 年 6 月 2 日(土) ～ 8 月 2 日(木)	「叡智の杜への誘い」 複製資料活用のすすめ
3	平成 19 年 8 月 4 日(土) ～ 10 月 4 日(木)	宮城県図書館活用推進事業「プロジェクト 22」 「アヒルと左吾平」 スクリーンの中の宮城
4	平成 19 年 10 月 6 日(土) ～ 12 月 5 日(水)	「韓くにの風にふかれて」
5	平成 19 年 12 月 8 日(土) ～ 平成 20 年 1 月 10 日(木)	「『源氏物語絵巻』の世界」
6	平成 20 年 1 月 12 日(土) ～ 3 月 2 日(日)	「みやぎの児童文学」
7	平成 20 年 3 月 4 日(火) ～ 5 月 31 日(土)	「書物鑑賞の基礎知識」

3 「プロジェクト22」(職員 6 チーム(A～F)による自主企画事業)

回	日時	内 容	対象・参加人数
1	平成 19 年 8 月 4 日(土) ～ 10 月 4 日(木)	A チーム「アヒルと左吾平」 スクリーンの中の宮城 宮城県をロケ地として制作された映画やドラマなどの映像資料から、作成当時の郷土の姿を浮き彫りにする。	一 般

回	日時	内 容	対象・参加人数
2	11月10日(土)	Bチーム「Exlibris 消しゴムはんこで蔵書票を作ってみよう」～大切な1冊にさらなる愛情を～ 本を取り巻く様々な歴史を蔵書票づくりを通して解説し、本の貴重さ大切さを再認識してもらう。	一般 9人
3	11月24日(土)	Cチーム 企画展「おらほの方言紙芝居『きてみてけらいん』」 現在、耳にする機会の減ってしまった地元「みやぎ」に伝わる方言を、紙芝居の読み聞かせ上演を通して身近に感じてもらう。昔懐かしい街頭紙芝居(複製)を同時展示で実施。	一般 41人
4	12月1日(土)	Dチーム「鯨にまつわるエトセトラ」 県政ニュースから映像で捕鯨の様子を紹介し、メンバー6名からは鯨に関するテーマ(捕鯨の歴史、工芸品、『鯨』という漢字、座礁、食文化、野球)を発表し、様々なアプローチを試みる。	一般 16人

4 図書館ツアー 5回実施、参加者延べ54人

回	日時	内 容	参加人数
1	8月4日(土)	親子ツアー 街頭紙芝居の紹介	親子 9組 計22人
2	8月4日(土)	親子ツアー 珍しい本の紹介	親子 8組 計19人
3	10月24日(水)	所蔵複製資料の紹介	一般 5人
4	12月8日(土)	大型本や雑誌の紹介	一般 5人
5	2月15日(金)	マイクロフィルム等新聞雑誌関係資料の紹介	一般 3人

5 データベース講習会 5回実施 参加者延べ11人

回	日時	対象・参加人数	回	日時	対象・参加人数
1	6月30日(土)	一般 2人	4	12月15日(土)	一般 2人
2	9月1日(土)	一般 4人	5	3月1日(土)	一般 3人
3	10月27日(土)	一般 0人			

6 子どもの本展示会

開催期間	会場	入場者数
4月25日(水)～5月6日(日)	ホール養賢堂	延べ 796人

7 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト - 宮城県図書館を核とした次世代育成の試み」

事業名	メニュー	趣旨	実施状況(会場, 期間, 内容の順)
地域サービス推進事業	叡智の杜展示会&セミナー実施	市町村図書館, 公民館等, 地域の社会教育施設等を会場に, 関係職員, 地域住民, ボランティアとも連携して, 本館貴重資料等の展示会とセミナーを開催する。	登米公民館(11月3日, 4日) 複製資料展示会:文化財への誘い, 宮城県図書館長出前講座 中田生涯学習センター(11月6日~12日) 複製資料展示会:文化財への誘い, 宮城県図書館長出前講座 石越公民館(11月13日~20日) 複製資料展示会:文化財への誘い 米山公民館(11月21日~27日) 複製資料展示会:文化財への誘い 登米合同庁舎(12月5日~13日) 複製資料展示会, セミナー(講師:宮城県図書館 大林茂) 米川公民館(12月17日, 1月21日, 2月18日) 宮城県図書館館長出前講座 第1回~3回 登米市東和総合支所(2月21日~25日) 複製資料展示会, 宮城県図書館館長出前講座
学校支援推進事業	叡智の杜展示会&特別授業実施	学校を会場に, 教員とも連携して, 本館貴重資料等の展示会を実施。あわせて特別授業も行う。地域住民にも開放する。	米山高校(8月26日~9月4日) 複製資料展示会:文化財への誘い 登米高校(8月30日~9月11日) 複製資料展示会:古典への誘い 松山高校(10月9日~20日) 複製資料展示会:文化財への誘い 上沼高校(10月11日~20日) 複製資料展示会:浮世絵への誘い 松山高校(10月15日) 社会科授業における『坤輿万国全図』活用 松山高校(10月20日) 学校祭における『坤輿万国全図』活用 佐沼高校(10月24日~10月31日) 複製資料展示会:古典への誘い 松山高校(11月6日) 家政科, 保育コース生徒対象の特別授業 (講師:宮城学院女子大学 足立智昭教授)

地域プロジェクト支援事業	地域版『叡智の杜』プロジェクト開発・実施	地元市町村が主体となり、地域の歴史・文化資料の掘り起こしによる展示会、セミナー、高校で特別授業等を実施する。	白石市図書館（12月8日～14日） 複製資料展示会:古典への誘い、展示解説（学芸員・司書による） 白石市図書館（12月22日） 白石歴史おはなし会（講師：宮城県図書館 伊達宗弘館長）
人材育成事業	叡智の杜フューチャー研修会実施	上記の事業を効果的に実施するために、セミナー・特別授業の講師（=フューチャー）を対象に、図書館のあり方や資料等についての研修や情報交換などを実施する。	松山高校（11月6日） 家政科、保育コースのある県立高等学校職員を対象とした特別授業の参観 宮城県図書館（11月30日） 職員を対象とした『環海異聞』研修会（講師：東北大学 平川新教授）
普及啓発事業	『叡智の杜』副読本刊行	展示会＆セミナー、学校での特別授業等で活用する副読本を編集・刊行する。また、本事業の成果をガイドブック（報告書）としてまとめ刊行する。	普及啓発誌『みやぎの叡智 宮城県図書館貴重書の世界』の編集・刊行 普及啓発誌付属資料として展示用パネル作成 報告書の編集・刊行
実行委員会	事業計画、事業報告等の決議		宮城県図書館（8月10日） 第1回：役員選出，計画概要承認 松山高校（11月6日） 第2回：事業実施状況視察 宮城県図書館（3月5日） 第3回：事業報告

- 8 音楽鑑賞講座
期日：平成19年7月21日（土）
講師：田村 輝頭 氏・鈴木 健治 氏（参加者：90人）
- 9 上映会・コンサ - ト
期日：毎月第2，第4土曜日，日曜日（参加者：479人）
- 10 生涯学習推進月間
生涯学習サークル等作品展示会（場所：生涯学習室 特設展示ブース）
オーストラリアワイルドフラワー作品展示・制作体験（参加者：延べ124人）
（特定非営利活動法人フラワーセラピー研究会仙台地区）
期日：平成19年10月2日（火）～10月21日（日）
「古典教室 - 変体仮名の世界と王朝文学への誘い -」（参加者：12人）
期日：平成19年10月11日（木）・18日（木）・25日（木）
講師：宮城県図書館資料奉仕部長 大林 茂
- 11 エル・ネット「オ - プンカレッジ」
期日：平成19年4月～平成19年12月
内容：文部科学省の衛星通信による大学公開講座の放映（参加者：延べ33人）
- 12 子ども放送局
期日：毎週土曜日（第5土曜日は除く）
内容：文部科学省の衛星通信による子ども向け番組の放映（参加者：延べ14人）
- 13 読書推進講演会
期日：平成19年11月3日（土）
講演：「わたしの『小さな本棚』～心に記した読書ノート」講師：佐伯 一麦 氏（参加者：100人）
- 14 みやぎ県民大学

テーマ「叡智の杜を訪ねて」8回実施 受講者80人，延べ310人

回	期日	講師	内容
1	9月1日(土)	資料奉仕部長 大林 茂	西行のみちのく旅を探る
2	9月8日(土)	主事 太田 美喜	戦争と平和
3	9月15日(土)	主事 田代 恭子	叡智の杜への招待 往来物
4	9月22日(土)	主事 日野 文都	叡智の杜への招待 博物学
5	9月29日(土)	主事 熊谷慎一郎	芦東山について
6	10月6日(土)	主幹 大和田順子	書物形態論
7	10月13日(土)	主事 岡本 真澄	書物形態論
8	10月20日(土)	主任主査 佐藤 睦美	叡智の杜をめぐる - 所蔵資料のあれこれ -

15 館長記念講演

「和歌のくにみちのく」（参加者：47人）

期日：平成19年11月17日（土）

「宮城のかたち」（参加者：87人）

期日：平成20年2月28日（木）

16 図書館ボランティア研修

養成講座 本館ボランティア 平成19年度新規登録者（47人）を対象に実施

（1）一般講座

期日：平成19年4月20日（金）

内容：宮城県図書館の概要，ボランティアについて，各活動担当者の紹介（参加者：41人）

（2）専門講座 活動分野ごとに，ボランティア登録を行い，専門講座を実施している。ただし，複数の専門講座を受講できることとしている。

・書架整理一般（全1回） 平成19年度新規登録者 20人

回	期日	内容	参加者
1	4月20日(金)	ラベル(請求記号)・配架について	19人

・書架整理児童（全2回） 平成19年度新規登録者 10人

回	期日	内容	参加者
1	4月20日(金)	ラベル(請求記号)・配架について	8人
2	6月28日(木)	ラベル(請求記号)・配架について	2人

・視聴覚（全2回） 平成19年度新規登録者 10人

回	期日	内容	参加者
1	4月27日(金)	活動内容について・配架について	5人
2	5月18日(金)	活動内容について・配架について	6人

・読み聞かせ（全2回） 平成19年度新規登録者 4人

回	期日	内容	参加者
1	4月20日(金)	読み聞かせの実演及び子どもの本，おはなし会について	5人
2	6月28日(木)	読み聞かせの実演及び子どもの本，おはなし会について	8人

・音訳（全4回） 平成19年度新規登録者 8人

回	期日	講座 内容	参加者
1	5月24日(木)	障がい者サービスについて，音訳サービスの実際	4人
補1	6月2日(土)	音訳の基礎1（音訳とは・日本語の基礎・呼吸法）	5人
2	6月7日(木)	障がい者サービスについて	7人
3	6月14日(木)	音訳サービスの実際1	7人
4	6月21日(木)	音訳サービスの実際2	7人
補2	6月23日(土)	障がい者サービスについて	4人

（全5回）

回	期日	講座 内容	参加者
1	9月13日(木)	読みの基本，デジタル録音機使い方講習会	12人
2	9月20日(木)	文芸作品の読み方，デジタル録音機使い方講習会	15人

3	9月22日(土)	デジタル録音機講習会, 全体会・オリエンテーション	9人
4	9月27日(木)	報道記事の読み方, デジタル録音機使い方講習会	10人
5	10月11日(木)	県立盲学校施設見学, 県視覚障害者情報センター見学	9人

・図書館案内(全7回) 平成19年度新規登録者 9人を含む28人を対象に実施

回	期日	内容	参加者
1	4月12日(木)	企画展「図書館式タイムトリップ バックトゥー1987」展示説明	12人
2	6月7日(木)	特別展「叡智の杜への誘い」展示説明	15人
3	8月9日(木)	特別展「アヒルと左吾平」～スクリーンの中の宮城～ 展示説明	12人
4	10月11日(木)	特別展「秋田県立図書館所蔵貴重書の世界」, 企画展「韓 くにの風にふかれて」展示説明	16人
5	12月13日(木)	特別展「視聴覚資料のあゆみ」, 企画展「『源氏物語絵巻』 の世界」展示説明	14人
6	1月14日(月)	「みやぎの児童文学」展示説明	16人
7	3月4日(火)	特別展「きらめく叡智と美のしずく展」, 企画展「書物 鑑賞の基礎知識」展示説明	17人

全体研修会 本館ボランティア登録者139人(新規60人, 継続79人)を対象

期日: 平成19年6月28日(木)

講演: 「文化ボランティアとは」 講師: 企画協力班 野澤 郁晃 (参加者: 40人)

宮城県図書館ボランティア10周年記念事業「ありがとう!10周年 ボランティア感謝の集い」

期日: 平成20年2月28日(木)

講演: 「宮城のかたち」館長 伊達 宗弘 (87名参加)

感謝状授与式

17 公共図書館等初任者研修会

期日: 平成19年4月19日(木)

講義1: 「図書館サービスを考える視点 -いつの日にも共感される図書館であるために-」

講師: 宮城県図書館 内馬場 みち子

演習: 「分類のしくみ~資料を有効に活用するための第一歩~」

講師: 宮城県図書館 日野 文都 田代 恭子 (参加者: 43人)

18 公共図書館長研修会

期日: 平成19年5月11日(金)

講演: 「図書館に期待される役割とサービス計画の立案」

グループ討議: 「図書館サービス計画と評価手法の実際」

講師: 濱田 幸夫 氏 (筑波大学大学院図書館情報メディア研究科・専任講師) (参加者: 37人)

- 19 公共図書館等職員研修会 1
期日：平成19年9月14日(金)・21日(金)
講演：「レファレンスサービスの実践のために」
講師： 斎藤 文男 氏（富士大学経済学部教授）(参加者：46人)
- 20 公民館図書室担当職員研修
期日：平成19年9月21日(金)
講演：「図書館資料の利用について」 講師：宮城県図書館 高橋 智恵
演習：「利用される図書館を作る～分類と修理の話～」 講師：宮城県図書館 田代 恭子
(参加者：18人)
- 21 公共図書館等職員研修会 2
期日：平成19年11月15日(木)
講演：「読むことの意味」 講師：宮川 健郎 氏（明星大学人文学部 教授）
(参加者：31人)
- 22 読書活動研究集会
期日：平成19年12月14日(金)
講演：「アニメーションのミラクルパワー」
講師：有元 秀文 氏（国立教育政策研究所 教育課程研究センター） (参加者：98人)
- 23 宮城県図書館振興講演会
期日：平成19年5月26日(土)
会場：松島町中央公民館
演題：「図書館のある暮らし～読書の楽しみ～」講師：大島 真理 氏（東北福祉大学講師）
(参加者：62人)

6 宮城県図書館協議会

図書館の運営に関する館長の諮問に応じるとともに、図書館の奉仕活動について意見を述べる機関。

(1) 第28次宮城県図書館協議会委員名簿 (任期:平成18年3月1日～平成20年2月29日)

氏名	役職名	備考
秋月 治	宮城大学事業構想学部教授	
石田 義光	東北学院大学文学部教授	
遠藤 幸生	宮城県古川黎明中学高等学校長	
齋藤 弘子	宮城テレビ番組審議会委員	
関口 怜子	ハートandアート空間BE I代表取締役	
佐藤 敏国	仙台市民図書館長	
永野 為和	(株)河北新報 取締役 営業本部長	
二瓶 瑠璃子	加美町中新田図書館副館長	
野家 啓一	東北大学副学長・図書館館長	
渡辺 好子	公募	

(2) 第28次宮城県図書館協議会開催状況

第1回 平成19年6月29日(金)

- ・報告事項 平成18年度利用状況及び平成19年度主要事業について
「宮城県図書館サービス計画の策定」について

第2回 平成19年10月4日(木)

- ・協議事項 「宮城県図書館振興基本計画」策定(案)について
- ・報告事項 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト」について
「音と映像のフロア」視聴ブースの今後の在り方について

第3回 平成20年2月28日(木)

- ・協議事項 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト」について
「音と映像のフロア」視聴ブースの廃止について

(3) 平成19年度宮城県公共図書館協議会連合会代表者会議

期日 平成19年11月9日(金)

- ・情報交換 各協議会活動状況の紹介
予算縮減に伴う各図書館の取り組み
図書の無断持ち去りに対する各図書館の取り組み

7 平成 19 年度図書館資料利用状況等（統計）

(1) 受入資料一覧表

図書・視聴覚資料

(現在高 = 平成20年3月末の蔵書数)

区分	購入	寄贈	その他	合計	除籍等	引増減	現在高
一般図書	8,831	1,730	226	10,787	1,100	9,687	650,876
洋書	10	1	0	11	7	4	17,037
ハングル資料				0		0	1,299
中国書				0		0	5,795
郷土資料	542	1,172	0	1,714		1,714	56,054
和古書				0		0	38,417
漢籍				0		0	18,886
地図資料				0		0	9,595
貸出用児童書	2,339	13	1,506	3,858	1,246	2,612	62,640
保存用児童書	2,549	24	1,949	4,522	154	4,368	87,214
貸出用紙芝居	6	0	0	6		6	731
街頭紙芝居				0		0	5,333
教育紙芝居				0		0	1,473
電子図書				0		0	922
マイクロフィルム	178	12	0	190		190	16,507
館外用図書				0	6,819	-6,819	3,597
図書資料小計	14,455	2,952	3,681	21,088	9,326	11,762	976,376
16mmフィルム				0			1,683
録画テープ(Uマチック)				0			24
録画テープ(ベータ)				0			30
録画テープ(VHS)	9	6	0	15	27	-12	14,293
8mmフィルム				0			18
CD-ROM(主に映像)				0			341
レコード				0	4,551	-4,551	1,320
コンパクトディスク	0	31	12	43	14	29	15,925
楽譜	1	14	1	16	1	15	10,652
レーザーディスク				0	1,392	-1,392	950
DVDビデオ	176	28	0	204		204	2,131
カセットテープ	120	0	0	120		120	4,553
オープンリールテープ				0		0	773
スライドフィルム				0		0	1,174
視聴覚資料小計	306	79	13	398	5,985	-5,587	53,867
総計	14,761	3,031	3,694	21,486	15,311	6,175	1,030,243

逐次刊行物

区 分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑 誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	8,549種	1,909種	403種	1,506種	37種
	みやぎ資料室	2,489種	495種	10種	485種	
	子ども図書室	181種	27種	14種	13種	
年鑑・年報	新聞雑誌室	3,048種	515種	205種	310種	
	子ども図書室	9種	0種	0種	0種	
行政資料	新聞雑誌室	2,141種	302種	148種	154種	
	みやぎ資料室	2,016種	207種	1種	206種	
新 聞	新聞雑誌室	659種	85種	58種	27種	1種
	みやぎ資料室	270種	64種	0種	64種	
	子ども図書室	2種	1種	1種	0種	
計		19,364種	3,605種	840種	2,765種	38種
前年度		18,790種	3,473種	912種	2,566種	39種

*子ども図書室には児童資料研究・相談室分を含む

(2)開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数

	開館日数	入館者数	1日平均 入館者数	個人貸出 冊数	1日平均 貸出冊数	調査相談 件数
平成19年 4月	25日	42,434人	1,697人	77,106冊	3,084冊	2,226件
5月	25日	44,577人	1,783人	75,516冊	3,021冊	2,333件
6月	25日	45,917人	1,837人	78,319冊	3,133冊	2,664件
7月	25日	49,200人	1,968人	83,243冊	3,330冊	2,934件
8月	26日	56,505人	2,173人	85,619冊	3,293冊	3,554件
9月	25日	44,993人	1,800人	83,383冊	3,335冊	2,933件
10月	25日	42,294人	1,692人	76,493冊	3,060冊	2,652件
11月	26日	43,059人	1,656人	75,807冊	2,916冊	2,953件
12月	24日	38,571人	1,607人	73,912冊	3,080冊	2,509件
平成20年 1月	17日	32,426人	1,907人	59,392冊	3,494冊	2,244件
2月	19日	35,024人	1,843人	69,354冊	3,650冊	2,523件
3月	26日	44,962人	1,729人	84,362冊	3,245冊	2,506件
合 計	288日	519,962人	1,805人	922,506冊	3,203冊	32,031件
前年度合計	285日	549,601人	1,928人	958,234冊	3,362冊	27,162件
増 減	+ 3日	- 29,639人	- 117人	- 35,728冊	- 159冊	+ 4,869件

(3) 利用登録者数

	19年3月末現在	20年3月末現在
利用登録者数	225,531人	235,205人
対前年比	+ 10,417人	+ 9,674人
新規登録者数	10,423人	9,671人
実利用者数	44,838人	46,483人

* 対前年比には、新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む

* 実利用者数は、年度内に登録、貸出等の図書館利用が1回以上あった利用者数を示す

居住市町村別内訳(平成19年度分で構成比の多い順)

利用登録者数

個人貸出冊数

	19年3月末現在		20年3月末現在			平成18年度		平成19年度	
	登録者数	構成比	登録者数	構成比		貸出冊数	構成比	貸出冊数	構成比
仙台市	172,801人	76.6%	179,794人	76.4%	仙台市	759,313冊	79.2%	729,780冊	79.1%
(内訳)青葉区	55,977人	24.8%	58,298人	24.8%	(内訳)青葉区	220,988冊	23.1%	215,391冊	23.3%
宮城野区	16,609人	7.4%	17,225人	7.3%	宮城野区	35,621冊	3.7%	31,267冊	3.4%
若林区	7,343人	3.3%	7,587人	3.2%	若林区	10,365冊	1.1%	8,708冊	0.9%
太白区	16,243人	7.2%	16,734人	7.1%	太白区	27,992冊	2.9%	22,938冊	2.5%
泉区	76,629人	34.0%	79,950人	34.0%	泉区	464,347冊	48.5%	451,476冊	48.9%
富谷町	14,646人	6.5%	15,487人	6.6%	富谷町	95,515冊	10.0%	95,960冊	10.4%
大和町	5,194人	2.3%	5,438人	2.3%	大和町	26,925冊	2.8%	26,114冊	2.8%
大崎市	4,534人	2.0%	4,822人	2.1%	大崎市	13,390冊	1.4%	12,495冊	1.4%
利府町	4,072人	1.8%	4,241人	1.8%	利府町	13,829冊	1.4%	11,790冊	1.3%
多賀城市	3,568人	1.6%	3,736人	1.6%	多賀城市	6,588冊	0.7%	5,669冊	0.6%
名取市	3,371人	1.5%	3,497人	1.5%	塩竈市	5,891冊	0.6%	4,945冊	0.5%
塩竈市	2,508人	1.1%	2,619人	1.1%	名取市	5,353冊	0.6%	4,503冊	0.5%
その他	14,837人	6.6%	15,571人	6.6%	その他	31,430冊	3.3%	31,250冊	3.4%
合計	225,531人	100.0%	235,205人	100.0%	合計	958,234冊	100.0%	922,506冊	100.0%

(4) 分類別蔵書冊数及び個人貸出冊数

	一般図書											外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他						
蔵書冊数	27,196	35,722	73,788	120,684	45,303	43,799	27,098	58,088	12,216	165,547	41,435	24,131	113,357	157,391	56,867	27,621	1,030,243
構成比 *1	2.6%	3.5%	7.2%	11.7%	4.4%	4.2%	2.6%	5.6%	1.2%	16.0%	4.0%	2.3%	11.0%	15.3%	5.5%	2.7%	100.0%
構成比 *2	4.5%	5.9%	12.1%	19.8%	7.4%	7.2%	4.4%	9.5%	2.0%	27.5%							
前年度計	25,867	35,123	72,722	118,312	45,006	42,826	26,677	56,908	12,014	163,198	45,441	24,127	111,643	150,405	59,454	34,133	1,023,856
増減	1,329	599	1,066	2,372	297	973	421	1,180	202	2,349	-4,006	4	1,714	6,986	-2,587	-6,512	6,387
貸出冊数																	
19年4月	853	2,469	3,995	5,476	3,321	5,072	2,020	4,623	763	16,293	36	122		15,975	16,088		77,106
5月	955	2,638	3,866	5,959	3,457	4,867	2,183	4,639	773	16,193	44	129		14,482	15,331		75,516
6月	998	2,586	3,811	5,852	3,402	5,081	1,996	4,582	771	16,241	36	137		17,138	15,688		78,319
7月	900	2,700	4,026	6,063	3,789	5,210	2,084	4,736	853	17,051	29	153		20,075	15,574		83,243
8月	928	2,929	4,248	6,249	3,955	5,175	1,953	4,980	830	17,625	33	173		21,610	14,931		85,619
9月	976	2,829	4,341	6,195	3,463	5,024	2,000	4,780	927	18,292	40	149		19,039	15,328		83,383
10月	870	2,702	3,938	5,724	3,435	4,854	1,969	4,488	870	16,944	29	137		16,070	14,463		76,493
11月	933	2,533	3,733	5,688	3,333	4,977	1,866	4,533	711	16,175	34	175		16,949	14,167		75,807
12月	830	2,271	6,159	5,417	3,101	4,499	1,573	4,193	699	14,939	41	174		16,067	13,949		73,912
20年1月	751	1,966	3,110	4,682	2,716	3,789	1,501	3,681	679	12,903	25	141		12,783	10,665		59,392
2月	826	2,231	3,595	4,876	2,975	4,421	1,694	4,215	785	15,702	-	132		14,529	13,373		69,354
3月	1,056	2,640	4,176	5,665	3,408	5,185	2,112	5,041	960	17,714	-	193		20,216	15,996		84,362
年度計	10,876	30,494	48,998	67,846	40,355	58,154	22,951	54,491	9,621	196,072	347	1,815	-	204,933	175,553	-	922,506
構成比 *1	1.2%	3.3%	5.3%	7.4%	4.4%	6.3%	2.5%	5.9%	1.0%	21.3%	0.0%	0.2%		22.2%	19.0%		100.0%
構成比 *2	2.0%	5.6%	9.1%	12.6%	7.5%	10.8%	4.3%	10.1%	1.8%	36.3%							
前年度計	12,154	31,047	48,057	73,953	42,081	62,041	24,848	57,680	9,701	194,043	914	2,000	-	207,709	192,006	-	958,234
増減	-1,278	-553	941	-6,107	-1,726	-3,887	-1,897	-3,189	-80	2,029	-567	-185		-2,776	-16,453		-35,728

構成比 *1 : 対総数での構成比を算出したもの

構成比 *2 : 一般図書のうちNDC分類付与済みの資料内での構成比を算出したもの

館内貸出冊数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
19年度	4,570	5,087	5,015	5,395	6,416	5,501	4,890	4,520	4,360	3,584	1,803	2,352	53,493
前年度	5,281	5,577	5,573	6,305	7,232	5,907	5,277	5,584	5,034	4,442	3,983	5,074	65,269
増減	-711	-490	-558	-910	-816	-406	-387	-1,064	-674	-858	-2,180	-2,722	-11,776

(5) 古書閲覧及び特別利用

		閲覧利用	特別利用								
			特別貸出	撮影	出版	掲載	翻刻	ビデオ	放送	装飾	計
19年 4月	利用件数	3件	1件	4件		5件			1件		11件
	利用冊数	5冊	1冊	12冊		5冊			1冊		19冊
5月	利用件数	8件	1件	1件		4件			1件		7件
	利用冊数	43冊	1冊	501冊		26冊			501冊		1,029冊
6月	利用件数	13件	2件	3件		4件					9件
	利用冊数	1,041冊	21冊	35冊		4冊					60冊
7月	利用件数	2件	4件	5件		11件			3件		23件
	利用冊数	3冊	125冊	120冊		128冊			3冊		376冊
8月	利用件数	6件	3件			17件					20件
	利用冊数	132冊	3冊			8冊					11冊
9月	利用件数	14件	3件	4件		7件			1件		15件
	利用冊数	883冊	4冊	7冊		10冊			1冊		22冊
10月	利用件数	10件	2件	1件		3件					6件
	利用冊数	63冊	15冊	16冊		18冊					49冊
11月	利用件数	12件	3件	6件		3件			3件		15件
	利用冊数	65冊	4冊	31冊		3冊			8冊		46冊
12月	利用件数	10件	2件	2件		9件					13件
	利用冊数	42冊	3冊	2冊		13冊					18冊
20年 1月	利用件数	4件	1件	1件		4件					6件
	利用冊数	80冊	2冊	52冊		13冊					67冊
2月	利用件数	11件	2件	3件		11件	1件	1件			18件
	利用冊数	124冊	3冊	49冊		29冊	1冊	1冊			83冊
3月	利用件数	11件				5件					5件
	利用冊数	54冊				10冊					10冊
計	利用件数	104件	24件	30件	0件	83件	1件	1件	9件	0件	148件
	利用冊数	2,535冊	182冊	825冊	0冊	267冊	1冊	1冊	514冊	0冊	1,790冊
前年度計	利用件数	86件	15件	34件	0件	42件	0件	0件	1件	0件	92件
	利用冊数	2,300冊	74冊	1,285冊	0冊	180冊	0冊	0冊	1冊	0冊	1,540冊

(6) 調査相談の利用

	電話	文書	E-mail	口頭	その他	計
19年 4月	327件	16件	31件	1,851件	1件	2,226件
5月	364件	8件	29件	1,932件	0件	2,333件
6月	293件	12件	56件	2,303件	0件	2,664件
7月	310件	29件	16件	2,579件	0件	2,934件
8月	331件	29件	42件	3,152件	0件	3,554件
9月	305件	20件	49件	2,559件	0件	2,933件
10月	340件	17件	83件	2,212件	0件	2,652件
11月	273件	97件	68件	2,515件	0件	2,953件
12月	272件	10件	21件	2,205件	1件	2,509件
20年 1月	256件	9件	29件	1,950件	0件	2,244件
2月	263件	14件	23件	2,223件	0件	2,523件
3月	258件	9件	24件	2,208件	7件	2,506件
計	3,592件	270件	471件	27,689件	9件	32,031件
前年度計	4,474件	283件	418件	21,968件	19件	27,162件

(7) 文献複写の利用

種類別枚数

種別		枚数
電子複写	白黒	146,748 (158,234)
	カラー	418 (470)
マイクロフィルム		17,145 (17,764)
写真撮影		2,231 (20,362)
計		166,542 (196,830)
月平均		13,879 (16,403)

受付窓口別枚数

種別	枚数
一般図書 カウンター	24,092 (28,679)
調査相談 カウンター	26,819 (24,153)
新聞雑誌室	56,952 (59,091)
みやぎ資料室	56,448 (84,907)
計	164,311 (196,830)

() 前年度

(8) 図書館間の相互協力

協力貸出冊数

図書館名	18年度	19年度
仙台市民	1,096冊	854冊
仙台市広瀬	286冊	225冊
仙台市宮城野	372冊	349冊
仙台市榴岡	235冊	204冊
仙台市泉	546冊	338冊
仙台市若林	335冊	607冊
仙台市太白	598冊	514冊
石巻市	738冊	832冊
塩竈市	748冊	778冊
大崎市	1,292冊	1,063冊
気仙沼市	604冊	452冊
白石市	434冊	363冊
名取市	752冊	876冊
角田市	449冊	334冊
多賀城市	647冊	946冊
岩沼市	552冊	555冊
登米市迫	776冊	681冊
登米市登米	218冊	236冊

図書館名	18年度	19年度
栗原市	1,280冊	1,012冊
東松島市	800冊	610冊
蔵王町	622冊	1,056冊
丸森町	2冊	43冊
亘理町	419冊	641冊
利府町	759冊	1,053冊
加美町中新田	92冊	149冊
加美町小野田	37冊	127冊
美里町小牛田	1,160冊	1,109冊
美里町南郷	137冊	314冊
南三陸町	490冊	447冊
本吉町	549冊	371冊
小計	17,025冊	17,139冊
公民館図書室等	6,095冊	5,375冊
県外図書館等	1,331冊	1,358冊
合計	24,451冊	23,872冊

協力貸出冊数(県外図書館等内訳)

都道府県	18年度	19年度
北海道	215冊	232冊
青森	143冊	78冊
岩手	299冊	204冊
秋田	84冊	95冊
山形	108冊	119冊
福島	198冊	131冊
茨城	8冊	19冊
栃木	1冊	4冊
群馬	0冊	10冊
埼玉	17冊	18冊
千葉	38冊	43冊
東京	19冊	20冊
神奈川	8冊	3冊
新潟	8冊	5冊
山梨	3冊	2冊
長野	11冊	1冊
静岡	9冊	38冊
富山	3冊	3冊
石川	2冊	0冊
福井	1冊	3冊
岐阜	5冊	3冊
愛知	23冊	17冊
三重	9冊	186冊

都道府県	18年度	19年度
滋賀	2冊	16冊
京都	21冊	11冊
大阪	15冊	9冊
兵庫	6冊	8冊
奈良	2冊	3冊
和歌山	1冊	0冊
鳥取	0冊	2冊
島根	0冊	0冊
岡山	8冊	9冊
広島	8冊	3冊
山口	13冊	11冊
徳島	2冊	3冊
香川	1冊	5冊
愛媛	4冊	4冊
高知	0冊	1冊
福岡	11冊	9冊
佐賀	10冊	4冊
長崎	2冊	12冊
熊本	1冊	3冊
大分	2冊	0冊
宮崎	4冊	8冊
鹿児島	0冊	0冊
沖縄	6冊	3冊
計	1,331冊	1,358冊

月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数

	貸出冊数			借受冊数				文献複写受付件数			文献複写依頼件数				協力レファレンス受付数		
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	計	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
19年 4月	1,590冊	163冊	1,753冊	59冊	25冊	5冊	89冊	40件	14件	54件	0件	2件	12件	14件	15件	3件	18件
5月	1,684冊	102冊	1,786冊	63冊	45冊	0冊	108冊	1件	5件	6件	0件	3件	19件	22件	10件	8件	18件
6月	1,931冊	115冊	2,046冊	73冊	6冊	0冊	79冊	4件	14件	18件	0件	0件	77件	77件	11件	5件	16件
7月	1,925冊	107冊	2,032冊	79冊	14冊	3冊	96冊	2件	19件	21件	0件	4件	46件	50件	11件	4件	15件
8月	1,900冊	114冊	2,014冊	72冊	18冊	6冊	96冊	5件	9件	14件	0件	2件	59件	61件	9件	2件	11件
9月	1,909冊	93冊	2,002冊	52冊	12冊	0冊	64冊	7件	4件	11件	1件	3件	27件	31件	12件	2件	14件
10月	2,200冊	138冊	2,338冊	43冊	14冊	0冊	57冊	41件	30件	71件	0件	4件	20件	24件	9件	4件	13件
11月	2,181冊	92冊	2,273冊	67冊	13冊	0冊	80冊	9件	0件	9件	3件	32件	30件	65件	7件	2件	9件
12月	1,916冊	93冊	2,009冊	42冊	16冊	0冊	58冊	1件	2件	3件	0件	4件	78件	82件	7件	2件	9件
20年 1月	1,587冊	74冊	1,661冊	40冊	11冊	0冊	51冊	7件	1件	8件	1件	2件	24件	27件	6件	2件	8件
2月	1,850冊	155冊	2,005冊	64冊	23冊	0冊	87冊	0件	17件	17件	1件	8件	13件	22件	13件	2件	15件
3月	1,841冊	112冊	1,953冊	58冊	28冊	11冊	97冊	9件	6件	15件	0件	2件	14件	16件	7件	2件	9件
計	22,514冊	1,358冊	23,872冊	712冊	225冊	25冊	962冊	126件	121件	247件	6件	66件	419件	491件	117件	38件	155件
前年度計	23,120冊	1,331冊	24,451冊	618冊	510冊	31冊	1,159冊	91件	448件	539件	14件	34件	526件	574件	129件	46件	175件

貸出依頼件数

	平成18年度	平成19年度
貸出依頼件数	25,267件	24,128件
所蔵件数	24,154件	23,368件
購入	297件	504件
借受・他館紹介等	32件	55件
提供不可	459件	201件
調査相談	175件	155件

(9)障がい者サービス

郵送貸出の利用

	新規登録	郵送貸出資料別							
		図書	朗読テープ		点字雑誌	ビデオ	CD	合計	
19年 4月	0人	利用件数	24件	24件		4件	11件	4件	67件
		利用冊数	91冊	27タイトル	115点	12冊	53点	11点	282点
5月	1人	利用件数	27件	23件		4件	10件	6件	70件
		利用冊数	103冊	27タイトル	119点	8冊	43点	22点	295点
6月	1人	利用件数	24件	24件		5件	5件	9件	67件
		利用冊数	84冊	33タイトル	116点	12冊	26点	23点	261点
7月	5人	利用件数	26件	23件		2件	4件	5件	60件
		利用冊数	119冊	3タイトル	87点	4冊	14点	13点	237点
8月	2人	利用件数	30件	23件		5件	9件	4件	71件
		利用冊数	112冊	19タイトル	93点	11冊	29点	12点	257点
9月	7人	利用件数	26件	22件		4件	6件	6件	64件
		利用冊数	91冊	25タイトル	97点	9冊	23点	22点	242点
10月	4人	利用件数	33件	21件		4件	5件	9件	72件
		利用冊数	105冊	15タイトル	84点	11冊	17点	34点	251点
11月	4人	利用件数	30件	21件		4件	6件	15件	76件
		利用冊数	115冊	25タイトル	81点	10冊	21点	40点	267点
12月	3人	利用件数	28件	20件		4件	7件	9件	68件
		利用冊数	102冊	23タイトル	71点	10冊	24点	23点	230点
20年 1月	2人	利用件数	25件	19件		3件	3件	5件	55件
		利用冊数	75冊	20タイトル	66点	8冊	11点	17点	177点
2月	2人	利用件数	29件	24件		7件	12件	8件	80件
		利用冊数	98冊	25タイトル	71点	18冊	31点	20点	238点
3月	2人	利用件数	36件	24件		3件	12件	4件	79件
		利用冊数	96冊	33タイトル	105点	9冊	47点	9点	266点
計	33人	利用件数	338件	268件		49件	90件	84件	829件
		利用冊数	1,191冊	275タイトル	1,105点	122冊	339点	246点	3,003点
前年度計	27人	利用件数	309件	347件		46件	119件	120件	941件
		利用冊数	1,232冊	478タイトル	1,901点	118冊	451点	402点	4,104点

音訳サービスの利用及び調査相談件数

		音訳サービス						調査相談件数	
		朗読テープの作成		対面朗読		電話朗読			計
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア		
19年 4月	実施件数		2件			4件	7件	13件	63件
	のべ時間		1.5時間			0.5時間	5.5時間	7.5時間	
5月	実施件数		3件			4件	11件	18件	31件
	のべ時間		4.0時間			0.5時間	9.5時間	14.0時間	
6月	実施件数		3件			4件	7件	14件	78件
	のべ時間		4.0時間			0.5時間	6.0時間	10.5時間	
7月	実施件数	1件	5件		1件	4件	11件	22件	44件
	のべ時間	1.0時間	10.0時間		2.0時間	1.0時間	10.5時間	24.5時間	
8月	実施件数	1件	10件			3件	9件	23件	54件
	のべ時間	1.0時間	24.5時間			0.5時間	7.5時間	33.5時間	
9月	実施件数		5件			4件	9件	18件	64件
	のべ時間		9.0時間			1.5時間	8.0時間	18.5時間	
10月	実施件数	1件	5件			4件	12件	22件	98件
	のべ時間	1.0時間	12.0時間			1.0時間	10.0時間	24.0時間	
11月	実施件数	4件	5件			8件	9件	26件	103件
	のべ時間	4.0時間	24.2時間			1.9時間	7.6時間	37.7時間	
12月	実施件数	5件	7件			3件	11件	26件	47件
	のべ時間	5.0時間	52.3時間			0.5時間	9.1時間	66.9時間	
20年 1月	実施件数	5件	8件		2件	2件	8件	25件	89件
	のべ時間	5.0時間	14.3時間		4.0時間	0.3時間	7.4時間	31.0時間	
2月	実施件数	6件	7件			2件	10件	25件	48件
	のべ時間	7.0時間	30.3時間			0.7時間	9.5時間	47.5時間	
3月	実施件数	7件	8件			5件	11件	31件	64件
	のべ時間	7.0時間	48.3時間			1.3時間	10.4時間	67.0時間	
計	実施件数	30件	68件	0件	3件	47件	115件	263件	783件
	のべ時間	31.0時間	234.4時間	0.0時間	6.0時間	10.2時間	101.0時間	382.6時間	
前年度計	実施件数	19件	23件	0件	4件	54件	116件	216件	739件
	のべ時間	12.5時間	44.0時間	0.0時間	8.0時間	33.9時間	98.1時間	196.5時間	

(10)生涯学習相談

	相談 受付 日数	相談 受付 件数	1 日平均 件数	受付方法別		相談内容別						
				面 接 相 談	電 話 相 談	イ学 ベ習 ン機 ト会	場施 所設	グ団 ル ー プ体	指講 導 者師	資 格	情 報 源	そ の 他
19年 4月	25	145	5.8	111	34	25	2	-	9	11	32	66
5月	25	93	3.7	68	25	21	2	1	13	3	28	25
6月	25	106	4.2	79	27	20	6	1	21	1	34	23
7月	25	93	3.7	72	21	23	2	1	13	2	28	24
8月	26	81	3.1	67	14	20	10	2	4	2	26	17
9月	25	89	3.6	71	18	20	4	3	3	3	32	24
10月	25	85	3.4	61	24	28	-	3	4	1	30	19
11月	26	71	2.7	56	15	20	2	2	3	4	23	17
12月	23	55	2.4	35	20	7	3	6	2	1	20	16
20年 1月	17	48	2.8	41	7	7	4	-	7	2	21	7
2月	17	50	2.9	40	10	12	2	1	5	2	33	32
3月	25	57	2.3	45	12	15	3	2	3	4	21	9
合 計	284	973	3.4	746	227	218	40	22	87	36	328	279
構成比		100.0%		76.7%	23.3%	22.4%	4.1%	2.3%	8.9%	3.7%	33.7%	28.7%
前年度計	289	1,506	5.2	1,301	205	442	146	67	85	31	334	401

区分	相談者の 男女別		相談者の年齢層別						計
	男	女	19歳 以下	20歳 ~ 29歳	30歳 ~ 39歳	40歳 ~ 49歳	50歳 ~ 59歳	60歳 以上	
人 数	636	337	14	82	143	140	161	433	973
構成比	65.4%	34.6%	1.4%	8.4%	14.7%	14.4%	16.5%	44.5%	100.0%
前年度計	988	518	38	132	155	138	266	777	1,506

(11)施設見学状況

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		うち閉架書庫見学		調べ学習		職場体験		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
平成19年 4月	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
5月	1	23	0	0	1	66			1	61	2	8	5	158
6月	0	0	1	19	1	12	1	12	0	0	0	0	2	31
7月	2	70	0	0	7	125	3	68	5	109	0	0	14	304
8月	1	23	0	0	2	40	2	40	1	30	3	9	7	102
9月	0	0	1	30	4	244	1	30	1	32	0	0	6	306
10月	0	0	2	32	1	30	1	30	2	48	4	19	9	129
11月	0	0	2	43	2	113			0	0	3	7	7	163
12月	1	13	2	41	2	58			0	0	0	0	5	112
平成20年 1月	0	0	1	10	0	0			0	0	1	1	2	11
2月	0	0	2	59	2	21			0	0	0	0	4	80
3月	0	0	3	36	0	0			0	0	0	0	3	36
合計	5	129	14	270	22	709	8	180	10	280	13	44	64	1,432
前年度合計	0	0	19	492	29	998	9	181	13	465	8	24	69	1,979

8 広報活動並びに刊行物

(1) 広報活動

イ 広報誌

- ・宮城県図書館だより『ことばのうみ』

第25号（平成19年7月）、第26号（平成19年12月）、第27号（平成20年3月）を発行。

ロ テレビ・ラジオ

- ・エフエムいずみ放送の番組「Lady, Go!」に毎月第2木曜日に職員が出演し、施設の利用案内、主催事業等について広報した。また、テレビ・ラジオ・新聞等のメディアを利用して随時広報を実施。

ハ インターネット

行事案内、新着資料案内等をホームページに掲載。

(2) 刊行物

イ 平成19年度要覧

（企画協力班）

ロ 平成18年度年報

（企画協力班）

ハ 利用案内

（企画協力班）

ニ 第38回子どもの本展示会目録

（利用サービス班）

ホ 児童図書の新刊紹介「子どもの森・本のいずみ」NO.92～103

（利用サービス班）

ヘ 平成19年度宮城県図書館貴重資料専門調査報告書

（調査班）

ト 平成19年度県内読書施設（図書館・公民館）の現状

（企画協力班）

チ 紀要『叡智の杜』 第5号

（企画協力班）

リ みやぎの叡智 宮城県図書館貴重書の世界

（企画協力班）

ヌ 平成19年度文部科学省委託 地域の図書館サービス充実支援事業報告書

（企画協力班）

ル 宮城県図書館協会だより

（総務班）

9 平成 19 年度の主なできごと

月	行 事 等	備 考
4	10日 企画展「図書館式タイムトリップ バックトゥ 1987」(～5/31) 12日 ボランティア専門講座(図書館案内) 19日 公共図書館等職員初任者研修会 20日 ボランティア養成講座(一般講座) 20日 ボランティア専門講座(書架整理一般, 児童, 読み聞かせ) 27日 ボランティア専門講座(視聴覚) 25日 子どもの本展示会(～5/6)	
5	11日 宮城県図書館協会第1回役員会・総会 11日 公共図書館長研修会 17日 公共図書館職員連絡会議 18日 ボランティア専門講座(視聴覚) 22日 子どもの本移動展示会(～2/29) 24日 ボランティア専門講座(音訳) 26日 宮城県図書館振興講演会	松島町中央公民館
6	1日 第1回防災訓練 2日 特別展「叡智の杜への誘い」複製資料活用のすすめ(～8/2) 2日 ボランティア専門講座(音訳補講) 7日 都道府県・政令指定都市立図書館長会議 7日 ボランティア専門講座(音訳, 図書館案内) 8日 全国公共図書館協議会総会・研究集会 14日 第58回北日本図書館大会福島大会(～6/15) 14日 ボランティア専門講座(音訳) 21日 ボランティア専門講座(音訳) 22日 第1回宮城県図書館振興基本計画検討委員会 宮城県博物館等連絡協議会総会・第1回研修会 23日 ボランティア専門講座(音訳補講) 28日 ボランティア全体研修会 28日 ボランティア専門講座(書架整理児童, 読み聞かせ) 29日 第1回宮城県図書館協議会 29日 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト」委託(～3/15) 30日 データベース講習会	国立国会図書館 東京都立中央図書館 東北歴史博物館
7	4日 教育実習生開講式(～4/20) 21日 音楽鑑賞講座 25日 宮城県図書館創立記念日(創立126周年) 26日 ボランティア追加登録者養成講座(一般講座補講) 28日 ボランティア追加登録者養成講座(一般講座補講)	
8	1日 第50回宮城県市立図書館長会議 4日 プロジェクト22企画展「アヒルと左吾平」 スクリーンの中の宮城(～8/2) 4日 としょかんギャラリー「『江戸近郊八景』複製展示」(～10/4) 4日 プロジェクト22図書館ツアー 9日 ボランティア養成講座(図書館案内) 10日 文部科学省モデル事業/第1回「宮城県図書館・叡智の杜づくり」実行	大崎市図書館

11	<p>10日 プロジェクト22「Exlibris 消しゴムはんこで蔵書票を作ってみよう」</p> <p>13日 中国吉林省教育視察団交流事業図書館訪問</p> <p>15日 公共図書館職員連絡会議</p> <p>15日 公共図書館等職員研修会2</p> <p>17日 図書館交流展記念講演</p> <p>24日 プロジェクト22「おらほの方言紙芝居『きてみてけらいん』」</p> <p>30日 文部科学省モデル事業/チューター研修会「石巻若宮丸のロシア漂流と『環海異聞』」</p>	
12	<p>1日 プロジェクト22「鯨にまつわるエトセトラ」</p> <p>2日 文部科学省モデル事業/「志茂田景樹隊長の読み聞かせ&講演会」</p> <p>4日 文部科学省モデル事業/「古典への誘い in 登米」(～12/13)</p> <p>8日 特別展「視聴覚資料のあゆみ」(～3/2)</p> <p>企画展「『源氏物語絵巻』の世界」(～3/2)</p> <p>8日 プロジェクト22 図書館ツアー</p> <p>13日 ボランティア専門講座(図書館案内)</p> <p>文部科学省モデル事業/セミナー「西行法師のみちのく旅」</p> <p>14日 読書活動研究集会</p> <p>15日 データベース講習会</p> <p>15日 特許情報活用セミナー</p> <p>15日 平成20年度ボランティア募集説明会</p> <p>18日 図書館等職員著作権実務講習会(～12/20)</p> <p>22日 文部科学省モデル事業/「白石歴史おはなし会 第7回 武将歌人 伊達政宗と白石」</p>	<p>白石市中央公民館 登米合同庁舎</p> <p>登米合同庁舎</p> <p>白石市図書館</p>
1	<p>11日 平成20年度ボランティア募集説明会</p> <p>12日 企画展「みやぎの児童文学」(～3/2)</p> <p>12日 としょかんギャラリー「ボランティア活動記録展」</p> <p>14日 ボランティア専門講座(図書館案内)</p> <p>16日 第5回仙台市図書館協議会</p> <p>24日 音と映像のフロア ブースでの視聴サービス廃止</p> <p>25日 特別整理期間(～2/7)</p>	
2	<p>1日 第3次宮城県図書館情報ネットワーク更改, 運用開始</p> <p>8日 自動貸出機によるサービス開始</p> <p>12日 みやぎ子ども読書活動推進に関する意見交換会</p> <p>15日 プロジェクト22 図書館ツアー</p> <p>21日 図書館協会第2回役員会</p> <p>28日 ボランティア10周年記念事業・平成20年度登録者一般講座</p> <p>28日 第3回宮城県図書館協議会</p>	県庁
3	<p>1日 データベース講習会</p> <p>1日 DVD貸出開始</p> <p>1日 平成20年度ボランティア一般講座(補講)</p> <p>文部科学省モデル事業/普及啓発誌『みやぎの叡智 - 宮城県図書館貴重書の世界』発行。報告書『22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト 宮城県図書館を核とした次世代育成の試み』発行</p> <p>4日 特別展「きらめく叡智と美のしづく展」(～5/31)</p> <p>企画展「書物鑑賞の基礎知識」(～5/31)</p>	
3	<p>4日 ボランティア専門講座(図書館案内)</p> <p>4日 文部科学省モデル事業/第3回「宮城県図書館・叡智の杜づくり」実行</p>	

	委員会 31日 宮城県図書館振興基本計画 2008-2012年 策定・公開	
--	--	--

沿革・概要

1 図書館のあゆみ

- 明治14年7月 宮城書籍館を仙台市勾当台通28番地 宮城師範学校内に創設（25日）
講堂（116㎡）を閲覧室，書庫（66㎡2階建）を業務室と書庫に利用。蔵書数17,682冊
- 25年5月 大槻文彦（当時の尋常中学校長 国語辞典『言海』の著者）が第8代館長を兼務
- 26年1月 宮城師範学校移転後，附属小学校校舎を修築し，延304㎡の独立館舎となる
- 40年4月 名称を宮城県立図書館と改称
- 大正元年10月 現在の勾当台公園南辺に独立館舎新築落成（延面積1,740㎡，蔵書数68千冊）
- 8年11月 名称を宮城県図書館に改称
- 昭和6年10月 宮城県図書館創立50周年・青柳文庫創立100周年記念式典を挙行（13日）
- 8年10月 図書館令により宮城県中央図書館に指定
- 20年4月 戦災を避けるために貴重な図書類（8,557冊）を宮城町上愛子の石垣彦左エ門，同町芋沢の佐藤兵之進両家の土蔵に疎開する
- 20年7月 仙台空襲のため館舎，書庫及び図書類全焼（9日深夜～10日早朝）
- 24年11月 宮城県庁西側（旧養賢堂跡地）に図書館落成（建築面積725㎡，延面積1,091㎡）
- 24年12月 伊達家より伊達文庫約35,000冊を購入（25日）
- 25年3月 大槻文庫79種，214点が寄贈される
- 31年4月 国立国会図書館よりP Bレポート（米国務省内のReport of Publication Board）の貸与を受け，東北大学内に宮城県図書館分室P Bレポート東北地区センターを置く
- 33年12月 児童会館（新坂通）に「分室こどもとしょかん」を開設し児童書を移管
- 37年4月 P Bレポートセンターを東北地区科学技術資料館と改称
- 38年4月 宮城県図書館館則の公布，施行
- 39年10月 宮城県図書館新築に関する請願について，県議会厚生文教常任委員会について採決
- 40年9月 宮城県議会において，起債3,000万円が決定し補正予算5,000万円計上提案され，県図書館新築決定
- 40年12月 仙台市榴ヶ岡5番地を図書館用地にするため，県開発公社と孝勝寺役員代表（所有者）が土地売買契約締結（用地面積3781.25㎡）
- 41年1月 昭和41年度図書館建築費国庫補助金1,500万円交付決定
- 41年5月 宮城県教育委員会行政組織規則の施行に伴い，総務課，資料課，奉仕課の3課制を実施
- 42年1月 仙台市榴ヶ岡5番地に県図書館新築のため，起工式挙行
- 43年1月 昭和43年度全国公共図書館視聴覚部門研究集会開催
宮城県図書館を仙台市榴ヶ岡5番地に新築落成，開館（18日，延面積4,040㎡，蔵書数19万冊）
昭和31年4月東北大学内に設置した東北地区科学技術資料館を新館に移転
- 43年9月 配本車の運行開始，県内69市町村に配本所設置
- 44年4月 宮城県図書館利用規定（昭和44年4月1日社第469号承認）を制定，施行
- 44年7月 移動図書館車「こかげ号」運行開始。県内23市町村を対象にへき地を選び53駐車場を設置
- 45年1月 宮城県図書館協議会規則公布，施行
- 49年10月 昭和49年度全国公共図書館視聴覚部門研究集会開催
- 50年10月 昭和50年度全国公共図書館整理部門研究集会開催
- 51年3月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により3課7係を設置
- 52年5月 第28回北日本図書館大会開催
- 53年6月 宮城県沖地震（12日）地震による被害のため6日間休館
- 53年10月 移動図書館車「こかげ号」更新
- 56年10月 創立100周年記念式典を挙行（31日）
- 58年7月 本館北側に積層書庫を増築落成（建面積246.35㎡，延面積1181.10㎡）。書庫増築工事に伴い，電動書架，積層書架，昇降機等を増設
- 59年3月 創立100周年記念事業として『宮城県図書館百年史』を発行

- 60年10月 国際青年年記念「みやぎ青年文庫」開設
全国図書館大会開催
- 61年 2月 日曜開館に伴う館則の一部改正（休館日）公布
- 61年 3月 利用規程の一部改正（閉館時間）
- 61年 4月 日曜開館始まる
- 61年11月 『宮城県図書館協会だより』創刊
- 62年 9月 新書庫4・5層空調工事完了
- 62年10月 千代通産局特許情報閲覧室が太陽生命ビル内に開所したため本館での閲覧を休止
- 63年 4月 宮城県図書館協会研究委員会から研究報告「県内図書館サービスネットワークのありかたに関する研究」発表
- 63年 6月 コミネット仙台パソコン通信加入。通信開始（行事等の案内）
- 63年 7月 特集文庫「21世紀ライブラリー」開設（分類にNDC 8版を採用）
- 平成元年 6月 宮城県図書館資料収集方針施行
- 元年 8月 松島瑞巖寺所蔵の仙台版木1,700枚を移管
- 元年11月 特許公報類地方閲覧所を廃止
- 2年 3月 図書館情報ネットワークシステム調査委員会から教育長あて報告書提出
- 2年 6月 本館所蔵『坤輿万国全図』が国の重要文化財に指定
- 3年 2月 宮城県図書館館則の一部を改正する規則（休館日）公布
- 3年 3月 宮城県図書館協議会から館長あて協議会審査報告書『宮城県図書館の整備充実方策について』提出
- 3年 6月 協力車運行開始（5コース，月1回運行）
- 3年 7月 特集文庫「東北学ライブラリー」開設
- 3年 9月 有識者等からなる宮城県図書館建設委員会設置
- 4年 7月 文仁親王殿下，文仁親王妃紀子殿下来館（20日）
宮城県図書館建設委員会から県教育長あて「宮城県図書館建設基本構想」提出
- 4年10月 第4回全国生涯学習フェスティバル協賛事業開催（3事業）
- 6年 3月 移動図書館巡回事業廃止
宮城県図書館情報ネットワークシステム概要設計完成
- 6年 4月 特集文庫「宮城学習の森ライブラリー」開設
- 6年12月 国指定重要文化財『坤輿万国全図』（着色）6幅修復完了
- 7年 1月 宮城県図書館調査専門会議設置
- 7年 4月 第3回宮城県図書館調査専門会議開催
- 7年 6月 平成7年度北日本地区公共図書館研究協議会，第46回北日本図書館大会，第11回宮城県図書館大会開催（於：仙台市）
- 7年 9月 国指定重要文化財『坤輿万国全図』6幅修復完了
- 7年11月 宮城県図書館調査専門会議 報告書提出
新宮城県図書館起工式（仙台市泉区紫山一丁目1番地）
- 7年12月 井上藤吉氏より「街頭紙芝居」4万点寄贈される
- 8年 9月 北海道・東北地区視聴覚ライブラリー研究協議会開催（仙台市）
- 8年10月 北日本地区公共図書館研究協議会総務部門開催（仙台市）
利用者端末設置稼働・生涯学習情報提供システム稼働
宮城県図書館情報ネットワークシステム稼働
- 8年11月 文化財保護課へ博物資料13点移管
- 9年 6月 宮城県教育改革推進本部図書館利用調整部会開催
- 9年 7月 新図書館運営検討調整部会開催
- 9年 8月 宮城県図書館（榴ヶ岡）閉館記念行事（最終映画会，図書館探検）閉館（31日）
- 9年 9月 新宮城県図書館竣工
- 9年10月 新館への移転開始

- 10年 1月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により2部4課9係制を設置
- 10年 3月 新館オープン(21日) 開館記念事業(コンサート・上映会・図書館探検)
- 10年11月 祝日開館施行始まる
- 11年 2月 宮城県図書館協議会より県内図書館の振興策について答申
- 11年 4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により2部4班制を設置
- 12年 4月 祝日開館本格実施
図書館作成ホームページ公開(20日)
本館所蔵『仙台城下絵図』等13点が仙台市指定有形文化財に指定(28日)
- 12年 6月 子ども読書年記念行事開催
- 13年 4月 インターネット蔵書検索システム公開(1日)
館内利用者用蔵書検索システム更新(1日)
- 13年 7月 宮城県図書館創立120周年記念特別展示「青柳文庫展」開催
- 14年 2月 古文書(購入分、約15,000点)を東北歴史博物館(宮城県多賀城市)へ移管
- 14年 3月 図書館情報ネットワークシステム(館内業務用図書館システム、市町村図書館ネットワークシステム)更新
宮城県内図書館総合目録(横断検索)システム公開(1日)
音と映像のフロア機器更新
- 14年 6月 図書館ホームページ内でメールによるレファレンス受付開始(8日)
- 14年11月 学都仙台オンライン目録(東北大学附属図書館提供)に参加(25日)
- 15年 1月 本館所蔵『禽譜』『観文禽譜』ほか8資料が県指定文化財(書籍)に指定(31日)
- 15年 2月 特別展「きらめく叡智と美のしずく展 図書館新館五周年記念・宮城の至宝展」開催(2月11日～3月28日)
- 15年 4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により2部5班10担当制を設置
- 15年 5月 三陸南地震(26日18時24分ごろ、M7.0、最大震度6弱)
地震による被害のため6月15日まで臨時休館(月曜日を除く休館日数17日)
- 15年 7月 本館所蔵『仙台領国絵図』『仙台城下絵図』等970資料が県指定文化財(歴史資料、書籍)に指定(1日)
- 16年 4月 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業 みやぎ文化資源の保存・活用事業の推進 が平成30年までの15カ年計画の予定でスタート
- 16年 6月 本館所蔵『音点春秋左伝詳節句解』等朝鮮古刊本262資料が県指定文化財(典籍)に指定(29日)
- 17年 1月 本館所蔵貴重資料を「叡智の杜Web」と題してホームページで公開
- 17年 4月 宮城県図書館資料収集方針を改正し、施行
- 17年 7月 本館所蔵『環海異聞』『奥州名所図会』等6件35点が県指定文化財(典籍、歴史資料)に指定。また『北極出地度里程測量』3点が先に指定を受けた『伊能図』5軸の附属資料として追加指定(26日)
- 18年 3月 本館所蔵「紙芝居資料」5,652点が国の登録有形文化財(美術工芸品)に登録(31日)
- 18年 4月 文化庁「平成18年度文化ボランティア推進モデル事業」委嘱(10日)
- 18年 6月 第56回北日本図書館大会宮城大会・宮城県公共図書館等総合研修会開催(29～30日)
- 18年11月 宮城県図書館創立125周年記念・東北大学附属図書館合同企画展「江戸の遊び」をせんだいメディアテークで開催(4～14日)
文部科学省委嘱「平成18年度図書館地区別(北日本)研修」開催(7～10日)
宮城県図書館創立125周年記念コンサート「J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲演奏会」開催(19日)
- 19年 2月 本館所蔵『宮城県漁具図解及び略解』1件2点が県指定文化財(書籍、典籍)に指定。また『關算四傳書(写本)』33点が先に指定を受けた474点に追加指定(16日)
秋田県立図書館交流展「きらめく叡智と美のしずく展～宮城県図書館所蔵貴重資料の世界～」開催(19日～3月25日)

- 19年 3月 宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録検索システム公開(1日)
- 19年 6月 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト」委託(29日)
- 19年10月 本館所蔵『奥羽観蹟聞老志』『風土記御用書出』2件86点が県指定文化財(書籍, 典籍)に指定(26日~平成20年3月15日)
秋田県立図書館交流展「きらめく叡智と美のしづく展~秋田県立図書館所蔵貴重資料の世界~」開催(6日~12月5日)
- 19年11月 館内整理日(第一金曜日)開館実施(2日)
- 20年 2月 第3次宮城県図書館情報ネットワークシステム更改, 自動貸出機導入
音と映像のフロアでのブース視聴廃止
- 20年 3月 『みやぎの叡智 - 宮城図書館貴重書の世界 - 』(郷土関係貴重書の図版解説目録)発行(1日)
宮城県図書館振興基本計画 2008-2012年 策定・公開(31日)

2 施設概要

敷地面積	55,278.74m ²
構造	S R C 地上4階,地下1階
建築面積	6,358.12m ²
延床面積	18,100.63m ²
収蔵能力	1,500,000冊

	面積	: 3,512.58m ²
	開架冊数	: 300,000冊
	閲覧席	: 393席
開架・閲覧室	利用者用検索端末	蔵書検索用 23台
		CD-ROM用 12台
		新聞DB用 3台
		インターネット用 7台
		生涯学習室用 1台
	その他	: 雑誌架,新聞差し,ベンチ

音と映像のフロア	面積	: 523.10m ²
	開架冊数	: ビデオ6,000本, CD5,000枚, DVD1,500枚, 楽譜5,000冊

子ども図書室	面積	: 452.25m ²
	閲覧席	: 25席
	その他	: 絵本架,紙芝居架,児童書架,新着図書架,児童雑誌・新聞架
	開架冊数	: 20,000冊

閉架書庫	面積	: 3,134.39m ²
	3階書庫	: 500,000冊
	4階書庫	: 700,000冊

駐車場(敷地内)	面積	: 6,700m ²	駐車台数	: 300台
----------	----	-----------------------	------	--------

臨時駐車場	面積	: 約10,000m ²	駐車台数	: 120台
-------	----	-------------------------	------	--------

3 特殊文庫

(1) 伊達文庫

もと仙台藩主伊達家の旧蔵書で、昭和24年に購入したもので、内容は和古書3,253点(19,197冊)、漢籍666点(9,980冊)、洋書251点(504冊)で合計4,170点(29,681冊)です。堀田正敦編の『禽譜』、光悦本『謡本』、大槻玄沢の『厚生新編』、仙台藩関係の絵図、古版本、古写本等の貴重資料が多数含まれています。

(2) 小西文庫

仙台の旧家小西家の蔵書で、昭和22年に同家より寄贈されたもので、和古書1,303点(3,147冊)、漢籍271点(1,213冊)で合計1,574点(4,360冊)です。大槻玄沢自筆の『育才呈案』、藤塚知明の名山蔵文庫本、古医学書ほか和漢の典籍が含まれています。

(3) 青柳文庫

仙台藩内から江戸へ出て成功した商人の青柳文蔵の寄付を基礎とした「青柳文庫」の旧蔵書です。明治14年の本館創立に際して、宮城師範学校から引き継いで、養賢堂蔵書とともに本館蔵書の母体になりました。内容は和古書311点(1,468冊)、漢籍156点(1,995冊)合計467点(3,463冊)です。

(4) 養賢堂文庫

仙台藩校「養賢堂」の旧蔵書で、明治14年の本館創立に際し、宮城師範学校から引き継いだもので、和古書196点(727冊)、漢籍67点(1,008冊)合計263点(1,735冊)からなっています。和古書と漢籍の善本に特色があります。

(5) 大槻文庫

『言海』の著者、大槻文彦の旧蔵書です。昭和25年、大槻家より寄贈されました。内容は和古書71点(215冊)です。いずれも大槻家の学問を知るための貴重な資料です。とりわけ『言海』の自筆原稿は白眉です。

(6) 今泉文庫

漢詩人、郷土史家の今泉篁州の旧蔵書で、昭和14年に寄贈されたものです。ほとんどが和書で78点(188冊)からなっています。

(7) 出来文庫

宮城県出身の英語学者・斎藤秀三郎(1866~1929年)の研究者である出来成訓教授(神奈川大学)から平成16年に寄贈されたものです。斎藤秀三郎の代表的著作『斎藤和英大辞典』(1928年)や齋藤が設立した正則英語学校(東京神田)の教科書類、講義録等251点が中心になっています。また、『英文鑑』(翻刻)等の日本の英学史における貴重な資料も含まれています。

(8) その他の文庫等

- ・「佐々久文庫」 元宮城県図書館長で郷土史家の佐々久氏寄贈の同氏所蔵コレクション
- ・「庄司文庫」 昭和53年に寄贈された政治家の庄司一郎氏の旧蔵書(和書を含む約8,700冊)
- ・「井上コレクション」 昭和63年まで約30年間、仙台で街頭紙芝居をしていた井上藤吉氏から平成7年に寄贈されたもの。(手描きの紙芝居 5,320巻, 53,662枚)
- ・宮城県出身の書誌研究者、庄司浅水氏の収集による近代文学作家の肉筆草稿・書簡類

(9) その他の貴重書

- ・坤輿万国全図(国指定重要文化財)
1602年(慶長7年)イタリア人宣教師マテオ・リッチが北京で刊行した世界図です。同版は、本館のほか京都大学附属図書館及びパチカン図書館の3館で所蔵が確認されています。(ほかに、世界図の部分を切り取って貼り直したものが内閣文庫に収蔵されています。)
- ・仙台版木
松島町大宮司家及び瑞巖寺から寄贈されたものです。江戸時代の仙台最大の版元伊勢半のものと伝えられる仙台版木を約1,700枚所蔵しています。

4 所蔵資料目録刊行状況

(昭和29年以降)

刊行年月	目 録 名
昭和29. 4	宮城県図書館蔵郷土文献目録
37. 3	宮城県図書館蔵書目録 1. 郷土資料篇
38. 3	" 2. 総記篇
39. 1	" 3. 哲学篇
40. 1	宮城県内公共図書館逐次刊行物総合目録
41. 3	宮城県図書館蔵書目録 4. 歴史篇
42. 3	" 6. 自然科学篇
45. 3	" 9. 芸術篇
46. 3	" 10. 語学篇
47. 3	" 8. 産業篇
48. 3	" 5. (上)社会科学篇 政治, 法律, 経済
49. 3	" 5. (下)社会科学篇 財政, 統計, 社会, 教育, 民俗, 軍事
52. 12	宮城県図書館所蔵戊辰史関係資料目録 (昭和52年12月現在)
53. 12	宮城県図書館所蔵仙台領内交通史関係資料目録 (昭和53年12月現在)
54. 3	宮城県内公共図書館逐次刊行物総合目録 (昭和53年12月31日現在)
55. 3	宮城県郷土資料総合目録
56. 3	" - 県人著作・行政資料篇 -
57. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 (昭和56年12月31日現在)
58. 3	小西文庫和漢書目録
59. 3	青柳・今泉・大槻・養賢堂文庫和漢書目録
60. 3	宮城県図書館漢籍分類目録
62. 3	伊達文庫目録
63. 3	宮城県内公共図書館所蔵逐次刊行物総合目録 (昭和62年5月1日現在)
平成元. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 (第二編) (昭和63年12月31日現在)
2. 3	宮城県図書館所蔵雑誌所収児童文学関係文献目録
3. 3	宮城県図書館和古書目録
4. 3	宮城県郷土資料件名標目表
5. 3	宮城県図書館所蔵絵図・地図解説目録
6. 3	宮城県図書館の貴重書 (一般古書編)
9. 3	宮城県図書館蔵書目録 CD-ROM
10. 10	宮城県図書館蔵書目録 CD-ROM (1997年版)
12. 3	宮城県版ISBN総合目録 CD-ROM (その後, 年2回の頻度で最新版に更新)
15. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 CD-ROM
16. 3	宮城県図書館所蔵紙芝居目録 CD-ROM
20. 3	宮城県図書館所蔵貴重書解説目録 『みやぎの叡智 宮城県図書館貴重書の世界 』

